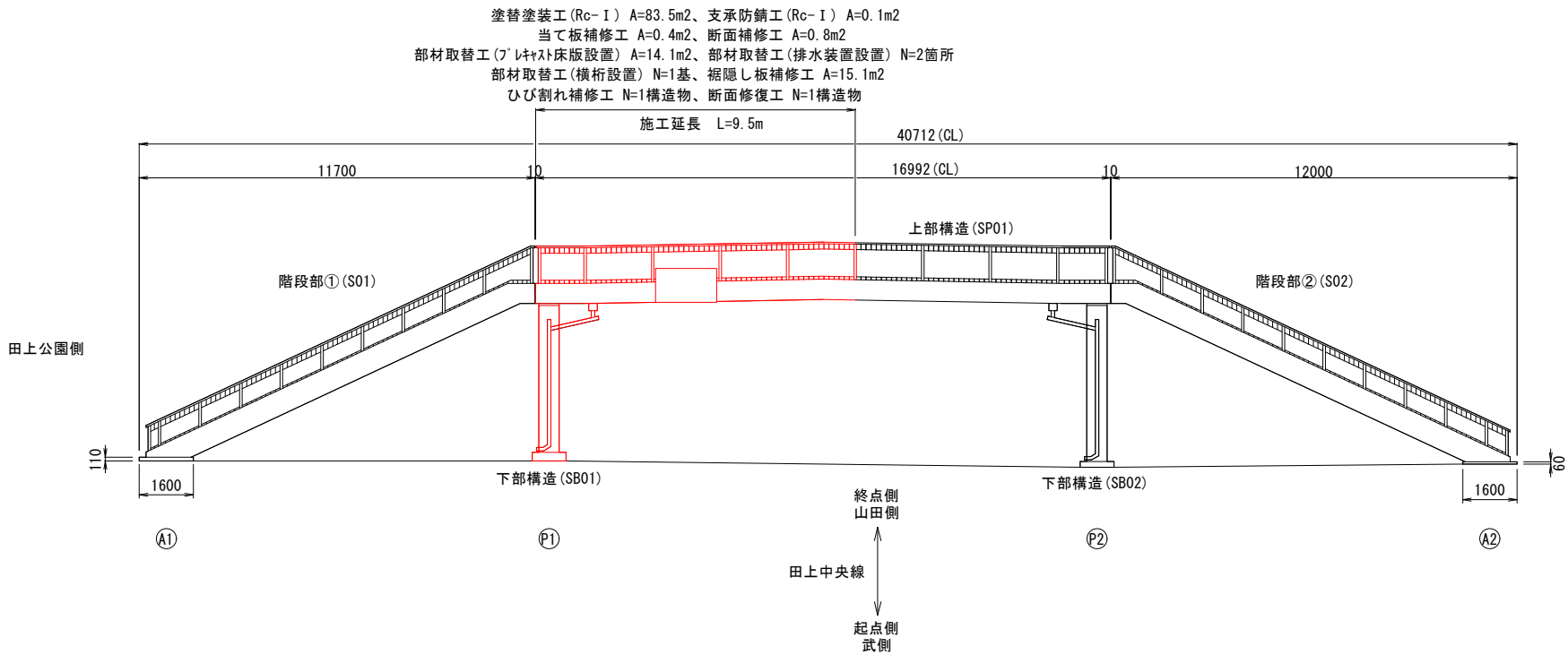
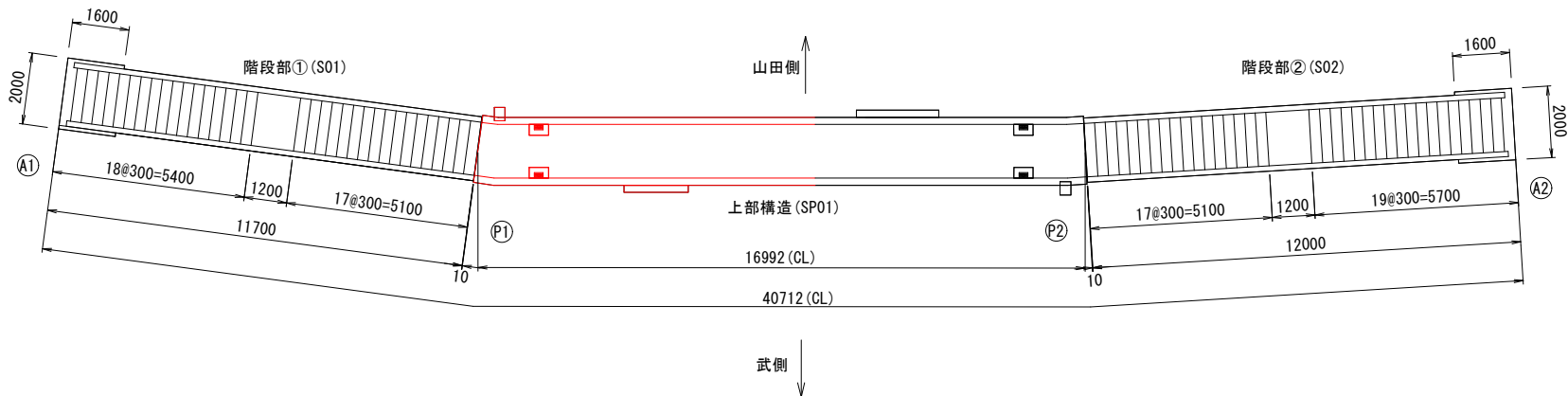


田上歩道橋 位置図・現況一般図

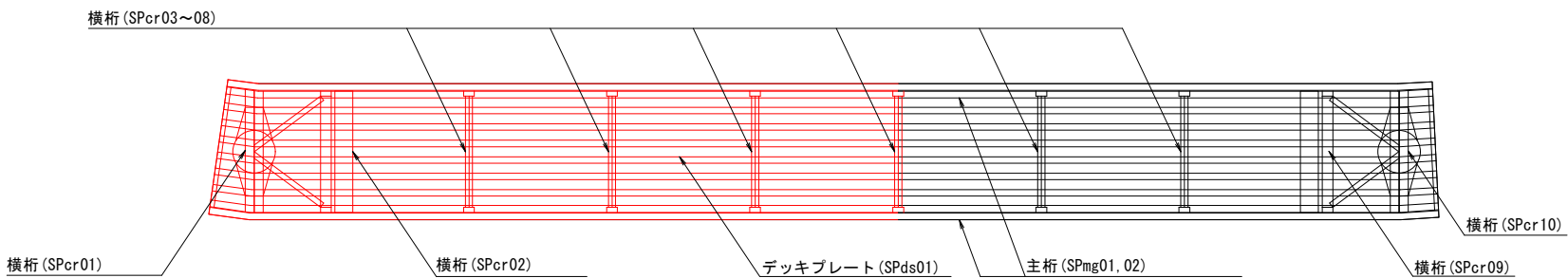
側面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



平面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



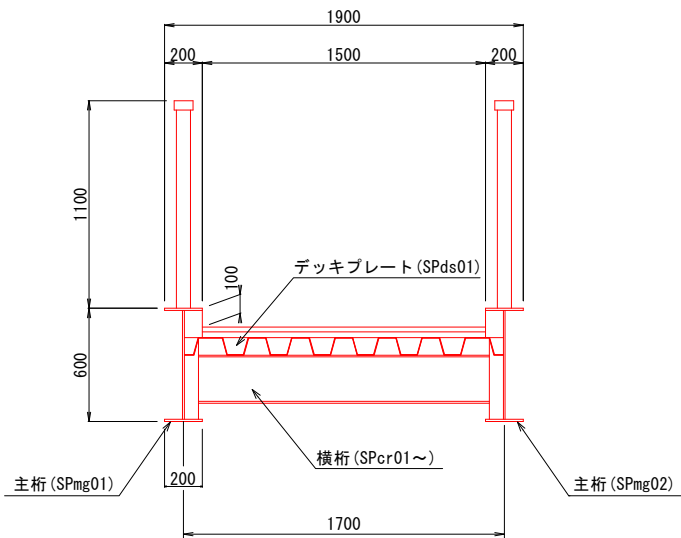
上部構造下面平面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



位置図



断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



歩道橋諸元

歩道橋名	田上歩道橋 (たがみほどうきょう)
路線名	市道 田上中央線
所在地	鹿児島市 田上一丁目
橋梁種別	横断歩道橋
橋長	L=17.00m
道路幅員	総幅員 W=1.90m
	歩道部 W=1.50m
径間	1径間
竣工年月日／経過年数 昭和47(1972)年/49年経過	
上部工形式	構造形式 I桁鋼橋(デッキプレート形式)
	使用材料 SS41
交差物	市道 田上中央線
上部構造基数	1基
下部構造基数	2基
階段部(昇降路)基数	2基
照明施設	無
道路標識	有
最終塗装年月日	平成28年3月
適用基準	歩道橋指針(1965)
製作(施工)会社名	日本鋼管株式会社

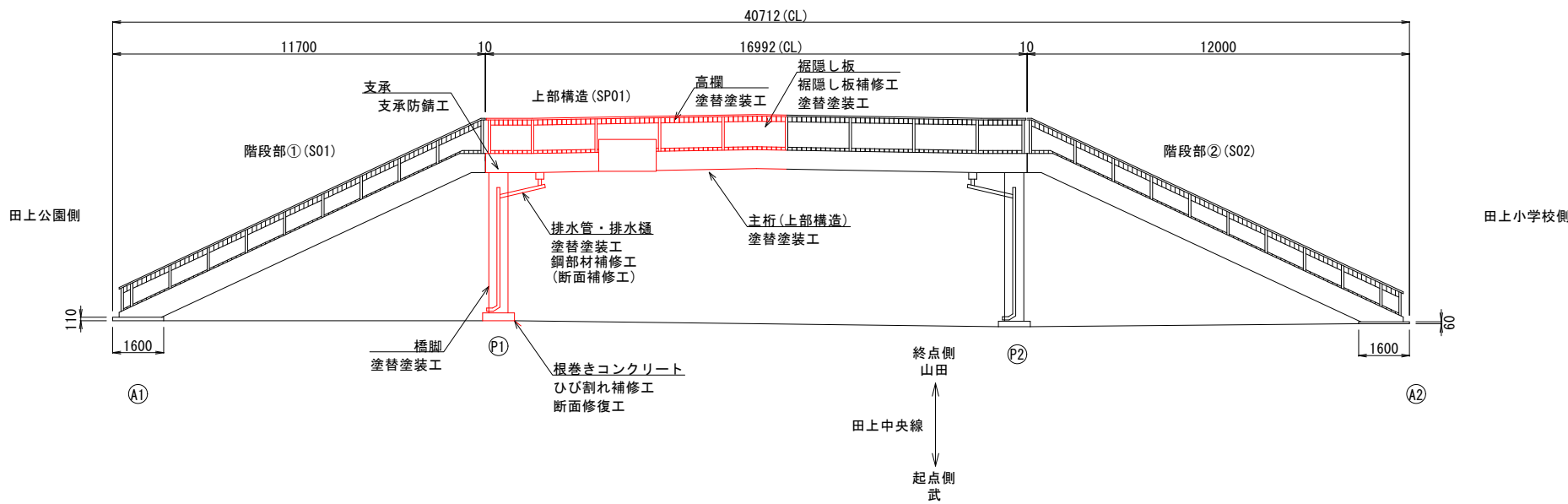
数量総括表

工種	単位	数量	
		当初	変更
塗替塗装工	Rc-I	m ²	83.5
支承防錆工	Rc-I	m ²	0.1
当て板補修工	金属パテ補修	m ²	0.4
	現場溶接(当て板)	m	15.6
断面補修工	FRPシート	m ²	0.8
部材取替工	プレキャスト床版設置	m ²	14.1
	現場溶接(取付金具)	m	3.5
	コーキング	m	48.8
	排水装置設置	箇所	2.0
	横桁設置	基	1.0
	現場溶接(横桁)	m	2.4
裾隠し板補修工	横断歩道橋側板(取外・取付)	m ²	15.1
ひび割れ補修工	ひび割れ注入工法	構造物	1.0
	ひび割れ充填工法	構造物	1.0
断面修復工	鉄筋ケレン・防錆処理含む	構造物	1.0
	鉄筋ケレン・防錆処理含まない	構造物	1.0

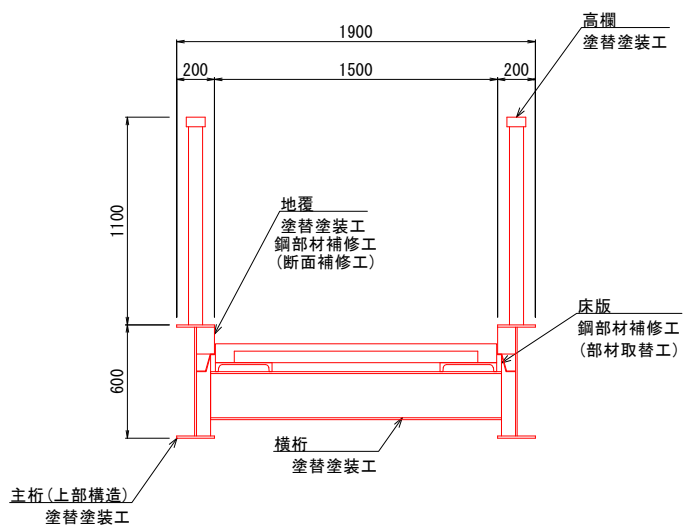
工事名	田上歩道橋補修工事(その3)		
事業名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	位置図・現況一般図		
図面番号	全 19 の 1	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 補修一般図

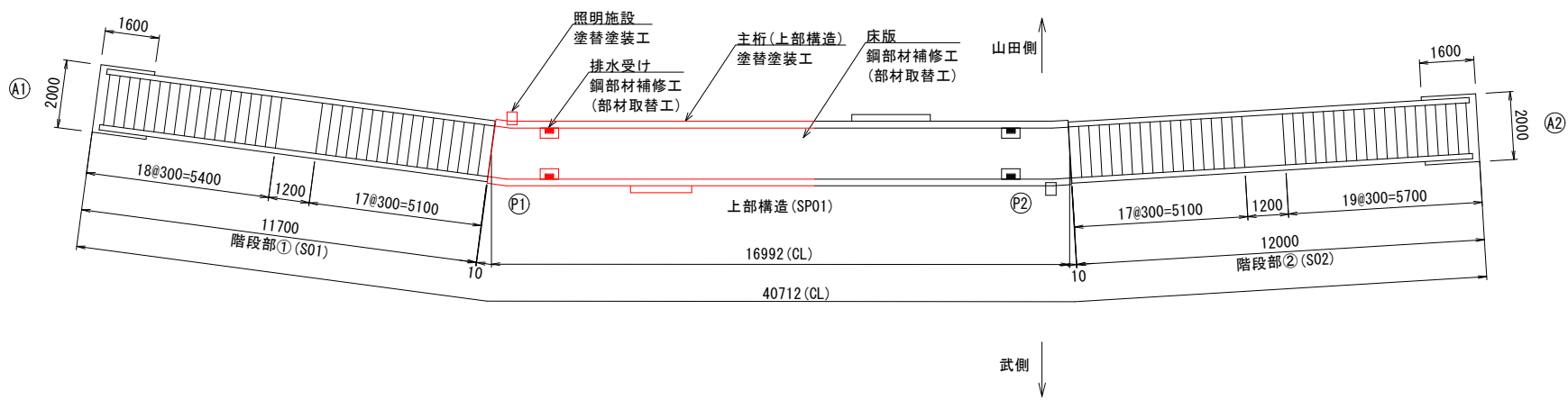
側面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



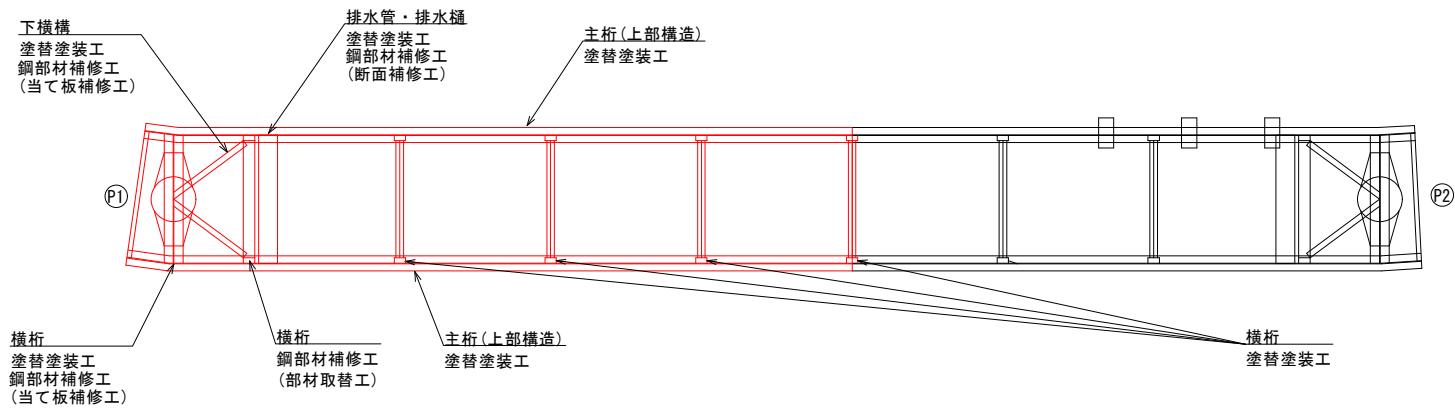
断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



平面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



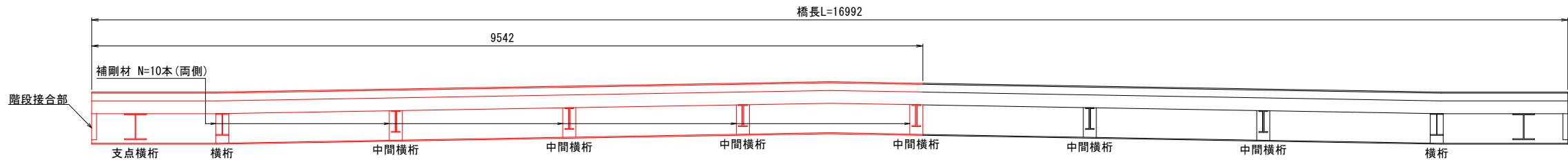
上部構造平面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



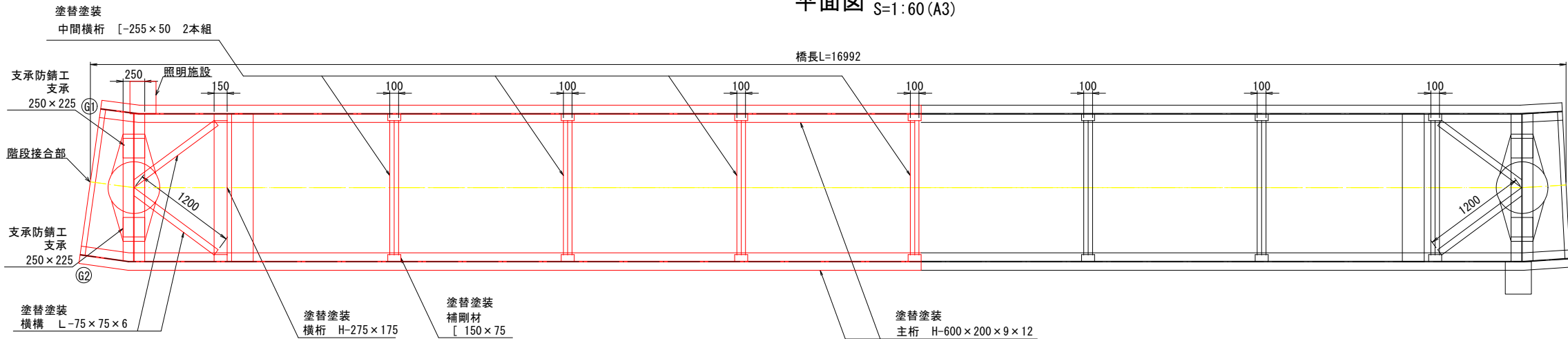
工事名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事業名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	補修一般図		
図面番号	全 19 の 2	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 塗替塗装工・支承防錆工(1/4)

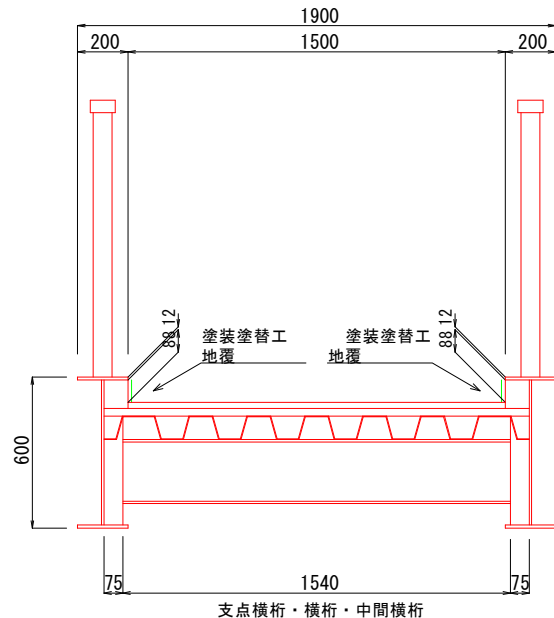
側面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



平面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



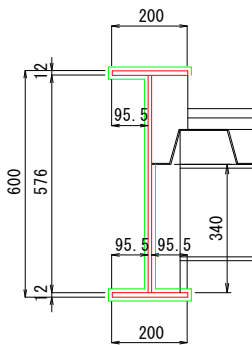
断面図 S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)



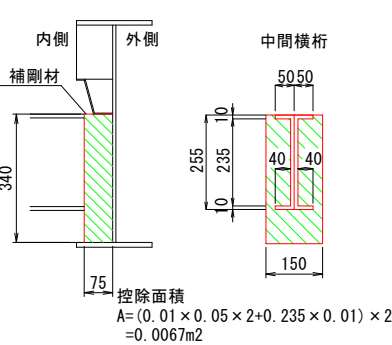
部材形状

※破線・斜線範囲は、塗替塗装範囲を示す。

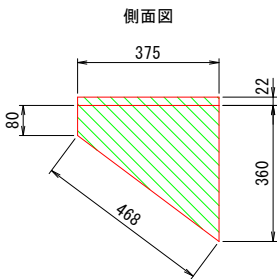
主桁部 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
H-600×200×9×12



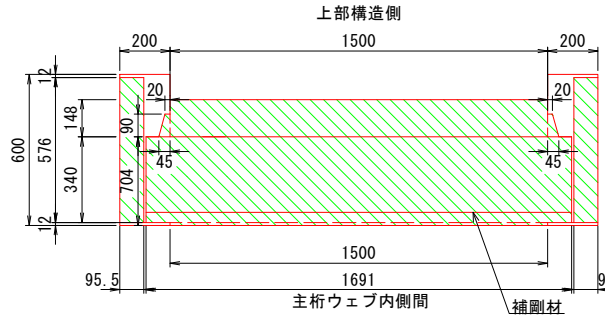
補剛材 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
[150×75



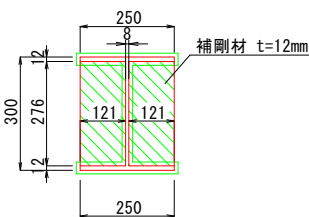
照明施設 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



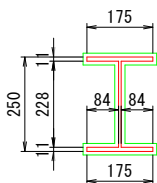
階段接合部 S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)



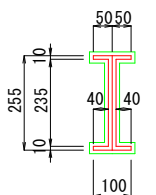
支点横桁 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
横桁 H 300×250



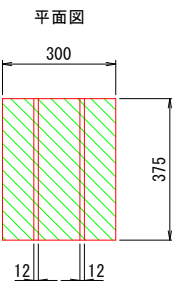
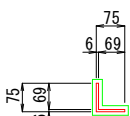
横桁 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
横桁 H 250×175



中間横桁 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
軽溝形鋼
[255×50 2本組



主桁 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
L 75×75×6



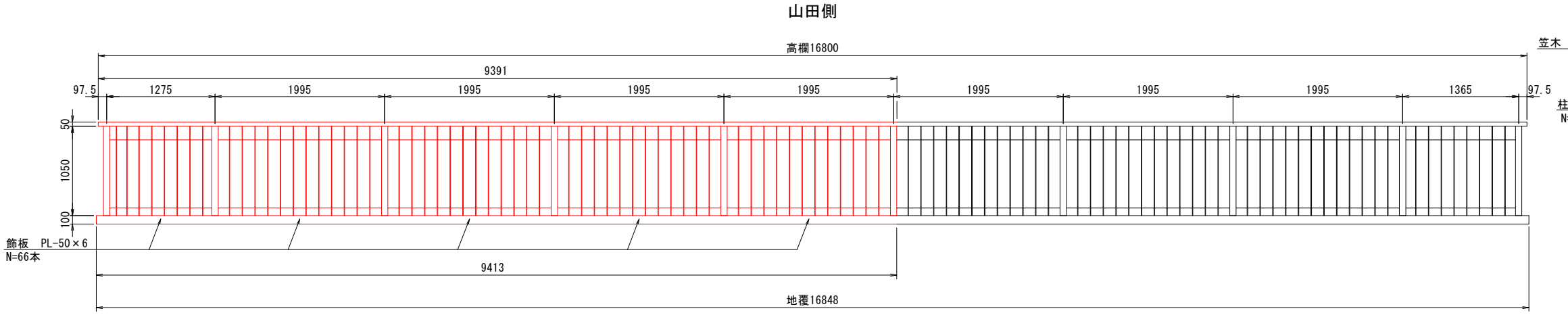
注記)

1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行う事。
2. 塗替塗装(素地調整)の際、現地状況確認により鋼部材の欠損が生じた場合は、適宜検討の上、当て板補修などの対策を現場で行うこと。
3. 塗替塗装工は、既設床版及び既設横桁の撤去後に実施すること。

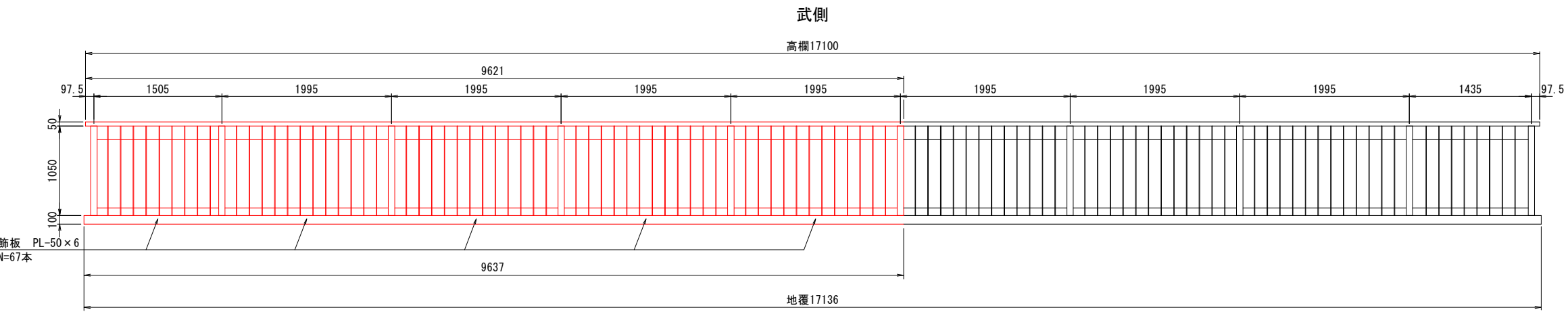
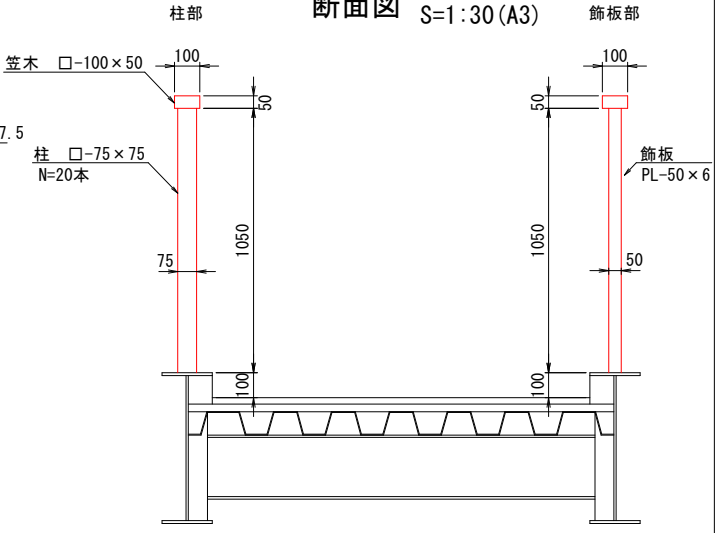
工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	塗替塗装工・支承防錆工(1/4)		
図面番号	全 19 の 3	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 塗替塗装工・支承防錆工 (2/4)

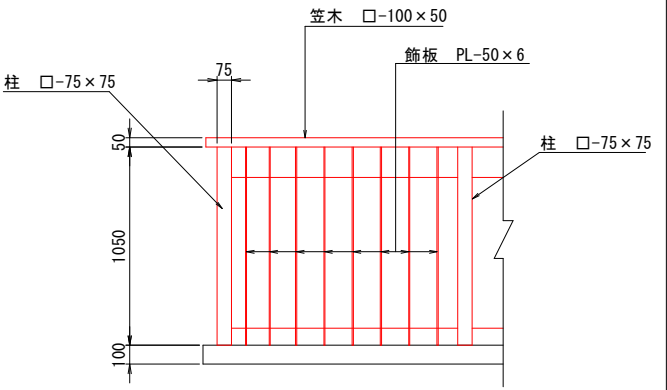
高欄 側面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



断面図 S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)



高欄拡大図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



注記)

1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行う事。

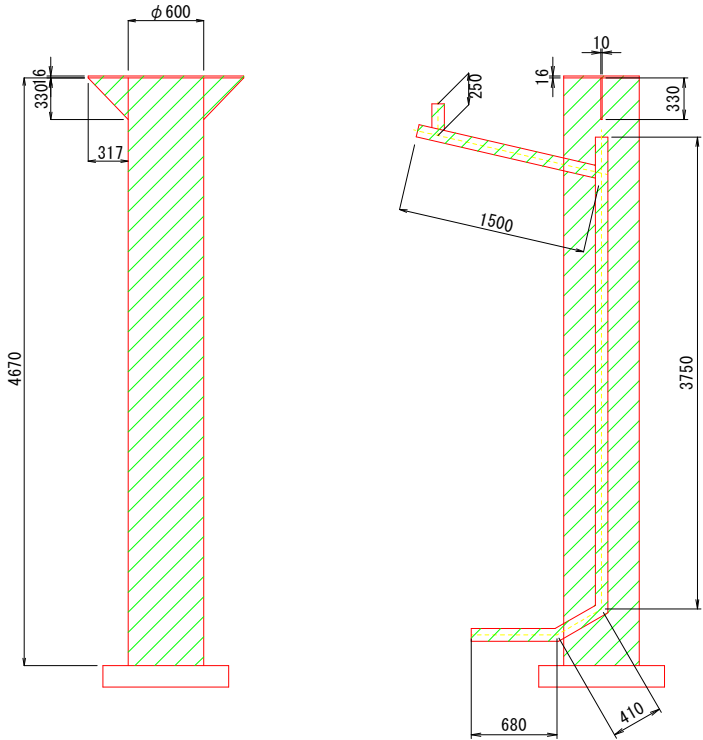
2. 塗替塗装(素地調整)の際・現地状況確認により鋼部材の欠損が生じた場合は、適宜検討の上、当て板補修などの対策を現場で行うこと。

工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	塗替塗装工・支承防錆工(2/4)		
図面番号	全 19 の 4	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

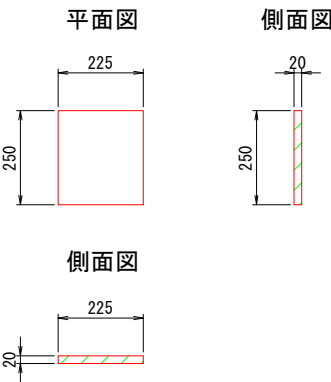
田上歩道橋 塗替塗装工・支承防錆工 (3/4)

橋脚部 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

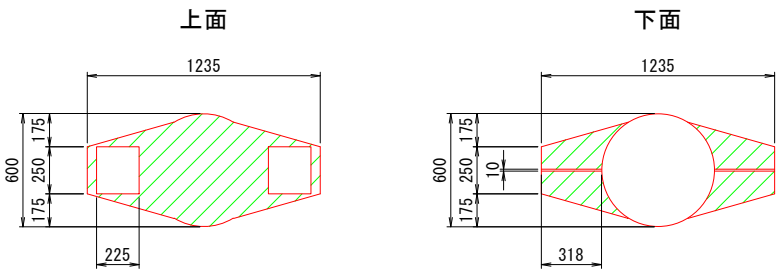
P1橋脚



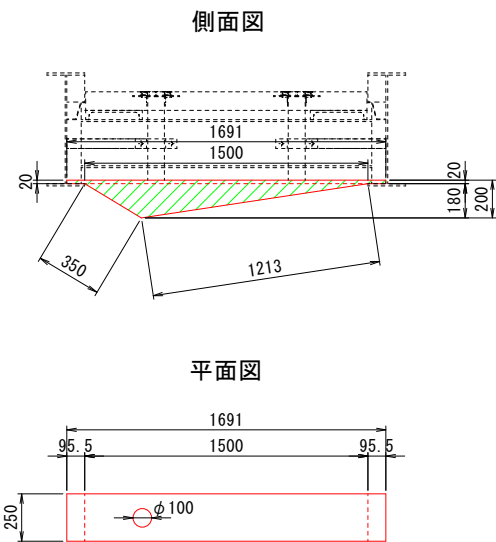
支承防錆工 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



橋脚部 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



排水樋 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



- 注記)
- 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行う事。
 - 塗替塗装(素地調整)の際・現地状況確認により鋼部材の欠損が生じた場合は、適宜検討の上、当て板補修などの対策を現場で行うこと。

工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	塗替塗装工・支承防錆工 (3/4)		
図面番号	全 19 の 5	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 塗替塗装工・支承防錆工(4/4)

塗替塗装工 数量表

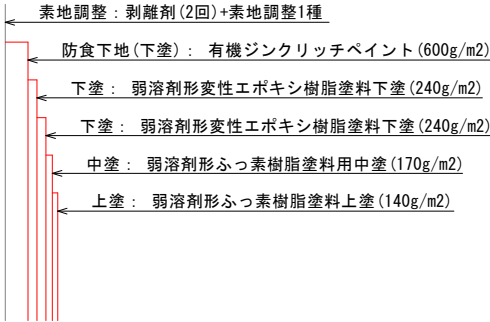
塗替塗装工 数量表					1橋当り	
名称	規格	部材	算 出 式	単位	数 量	
塗替塗装工	Rc-I 塗装系(スプレー) ※剥離剤使用	上部構造	主桁	$(0.20 \times 2 + 0.0955 \times 3 + 0.012 \times 4 + 0.576 + 0.340) \times 9.542 \times 2 - 0.15 \times 0.34 \times 10 - (0.05 \times 0.006 \times (66+67) + 0.075 \times 0.075 \times 12)$	m ²	30.88
			補剛材	$(0.075 \times 2 + 0.15) \times 0.34 \times 10 - (0.0067 \times 8 + 0.0049 \times 2 + 0.0058 \times 2)$	m ²	0.95
			階段接合部	$0.148 \times 1.50 + 1/2(0.02 + 0.045) \times 0.09 \times 2 + 0.34 \times 1.691 + 0.012 \times 1.50 + 0.095 \times 0.576 \times 2 + 0.057 \times (1.591 + 1.691) + (0.033 + 0.304) \times 1.50 + 0.60 \times 0.05 \times 2$	m ²	1.68
			支点横桁	$(0.25 \times 2 + 0.121 \times 4 + 0.012 \times 4 + 0.276 \times 2) \times 1.54 + 0.276 \times 0.121 \times 2 \times 4 - (0.25 \times 0.225 \times 2)$	m ²	2.59
			横桁	$(0.175 \times 2 + 0.084 \times 4 + 0.011 \times 4 + 0.228 \times 2) \times 1.54$	m ²	1.83
			中間横桁	$(0.10 \times 2 + 0.04 \times 4 + 0.01 \times 4 + 0.235 \times 2) \times 1.54 \times 4$	m ²	5.36
			横構	$(0.075 \times 2 + 0.006 \times 2 + 0.069 \times 2) \times 1.20 \times 2$	m ²	0.72
			照明施設	$0.30 \times 0.375 \times 2 - 0.375 \times 0.012 \times 2 + 0.022 \times (0.375 \times 2 + 0.30) + 1/2(0.08 + 0.36) \times 0.375 \times 4 + 0.012 \times (0.08 + 0.468) \times 2$	m ²	0.58
			高欄	$(0.05 \times 2 + 0.10 \times 2) \times (9.391 + 9.621) - (0.075 \times 0.075 \times 12 + 0.05 \times 0.006 \times (66+67)) + 0.05 \times 0.10 \times 2 + 0.075 \times 4 \times 1.05 \times 12 + (0.05 \times 2 + 0.006 \times 2) \times 1.05 \times (66+67)$	m ²	25.03
			地覆	$0.088 \times (9.413 + 9.637)$	m ²	1.68
			小計	$30.88 + 0.95 + 1.68 + 2.59 + 1.83 + 5.36 + 0.72 + 0.58 + 25.03 + 1.68$	m ²	71.30
		P1橋脚	橋脚	$0.60 \times \pi \times 4.67 - 0.01 \times 0.33 \times 2 + 1/2(0.25 + 0.60) \times 1.235 - 0.25 \times 0.225 \times 2 + 1/2(0.25 + 0.60) \times 1.235 - (0.01 \times 0.318 \times 2 + 0.30 \times 0.30 \times \pi)$	m ²	9.44
			排水樋	$(1.50 \times 0.18 \times 1/2 + 0.02 \times 1.691) \times 2 + (0.35 + 1.213) \times 0.25 - 0.05 \times 0.05 \times \pi$	m ²	0.72
			排水管	$0.10 \times \pi \times (0.25 + 1.50 + 3.75 + 0.41 + 0.68) - 0.05 \times 0.05 \times \pi \times 2$	m ²	2.05
			小計	$9.44 + 0.72 + 2.05$	m ²	12.21
		合計	$71.30 + 12.21$	m ²	83.51	

支承防錆工 数量表

				1橋当り	
名称	規格	部材		算 出 式	単位 数 量
支承防錆工	Rc- I 塗装系(スプレー)	橋脚	支承	$0.02 \times (0.25 \times 2 + 0.225 \times 2) \times 2$	m ² 0.04

※剥離剤使用

Rc- I 塗装系(スプレー)



Rc- I 塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	剥離剤(2回)+素地調整1種		4時間以内
防食下地 (下塗)	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

注記

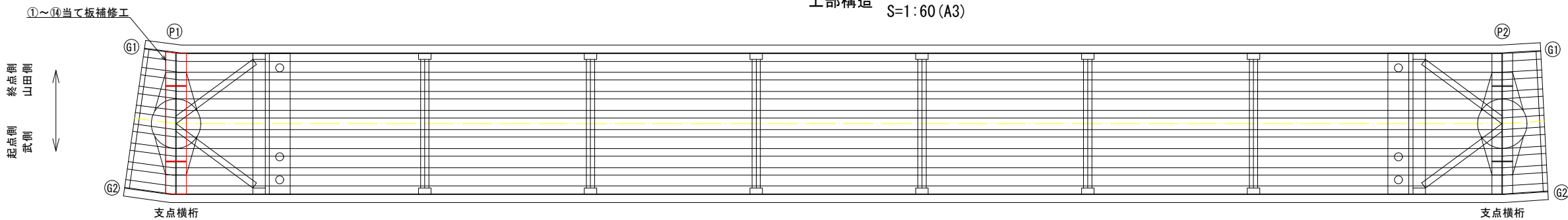
- 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行う事。
- 塗替塗装(素地調整)の際・現地状況確認により鋼部材の欠損が生じた場合は、適宜検討の上、当て板補修などの対策を現場で行うこと。

工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	塗替塗装工・支承防錆工(4/4)		
図面番号	全 19 の 6	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工 (1/9)
(当て板補修工)

平面図

上部構造 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



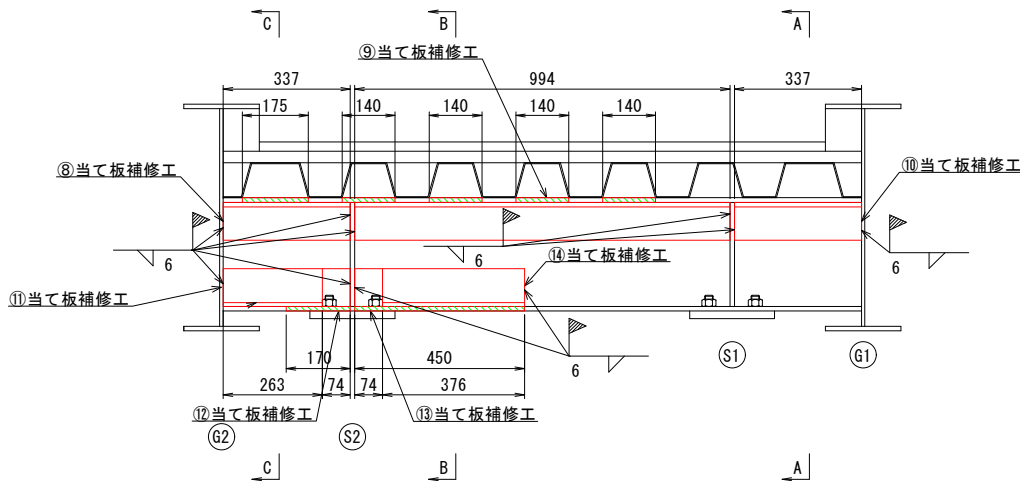
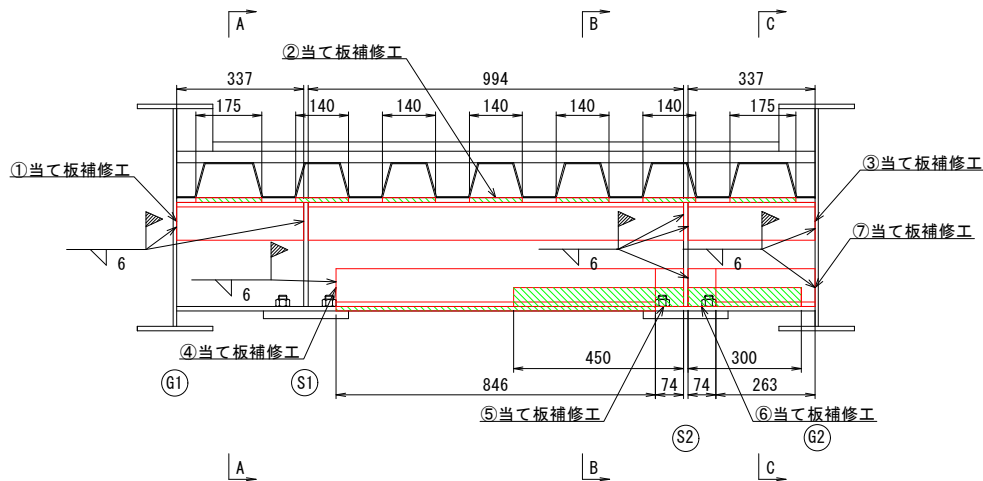
当て板補修工 詳細図

斜線部 (破断部) は金属パテにて平滑補修

P1橋脚上支点横桁 起点側 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

P1橋脚上支点横桁 終点側 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

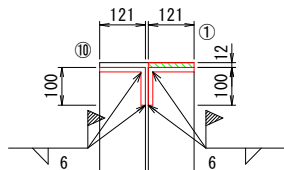
断面図 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



A-A断面

B-B断面

C-C断面



当て板補修工 計算書

当て板	金属パテ						溶接長				1橋当り
	長さ (mm)	幅 (mm)	塗布厚 (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)	重量 (kg)	長さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	延長 (m)	
①	175	121	12	0.0212	0.00026	0.572	100	121	337	1.116	
②	700	121	12	0.0847	0.00102	2.244	100	121	994	2.430	
③	175	121	12	0.0212	0.00026	0.572	100	121	337	1.116	
④	846	121	12	0.1024	0.00123	2.706	100	121	846	2.134	
⑤	450	50	8	0.0225	0.00018	0.396	100	12	74	0.260	
⑥	300	50	8	0.0150	0.00012	0.264	100	12	74	0.260	
⑦	-	-	-	-	-	-	100	121	263	0.968	
⑧	175	121	12	0.0212	0.00026	0.572	100	121	337	1.116	
⑨	560	121	12	0.0678	0.00082	1.804	100	121	994	2.430	
⑩	-	-	-	-	-	-	100	121	337	1.116	
⑪	-	-	-	-	-	-	100	121	263	0.968	
⑫	170	121	12	0.0206	0.00025	0.550	100	12	74	0.260	
⑬	-	-	-	-	-	-	100	12	74	0.260	
⑭	450	121	12	0.0545	0.00066	1.452	100	121	12	1.194	
計				0.4311	0.00506	11.132				15.628	

当て板補修工 数量表

名称	規格	算 出 式	単位	数 量
当て板補修工	金属パテ (セラミック配合エポキシ樹脂)	当て板補修工計算書より	m2	0.43
		当て板補修工計算書より	kg	11.13
	溶接長	当て板補修工計算書より	m	15.63
	当て板	28.063+41.387+17.612+10.951+7.828+2.788	kg	108.63

当て板鋼重量

L-100×121×12×337 (①、③、⑧、⑩)
N= 4 箇所
W= 28.063 kg

L-100×121×12×994 (②、⑨)
N= 2 箇所
W= 41.387 kg

L-100×121×12×846 (④)
N= 1 箇所
W= 17.612 kg

L-100×121×12×263 (⑦、⑪)
N= 2 箇所
W= 10.951 kg

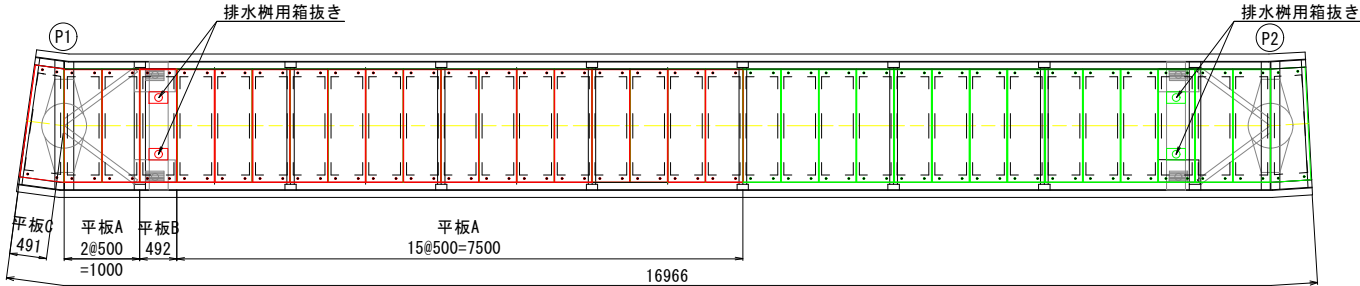
L-100×121×12×376 (⑬)
N= 1 箇所
W= 7.828 kg

PL-74×100×12 (⑤、⑥、⑫、⑭)
N= 4 箇所
W= 2.788 kg

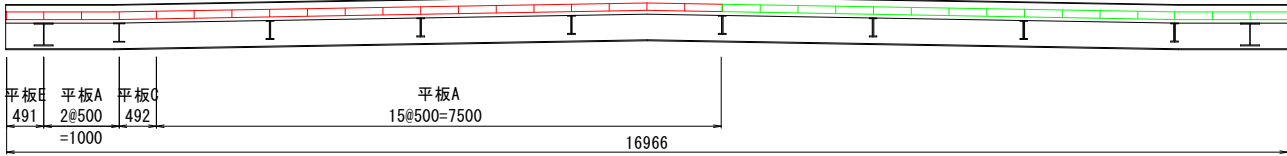
工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	鋼部材補修工 (1/9)		
図面番号	全 19 の 7	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工 (3/9)
(部材取替工 床版)

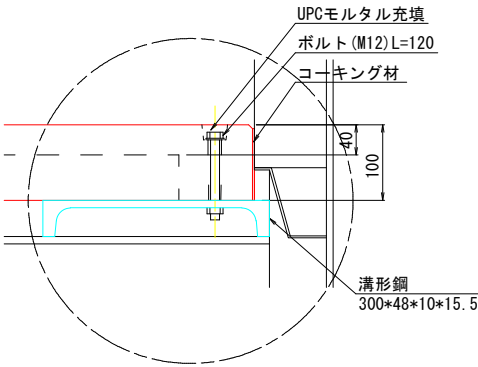
平面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



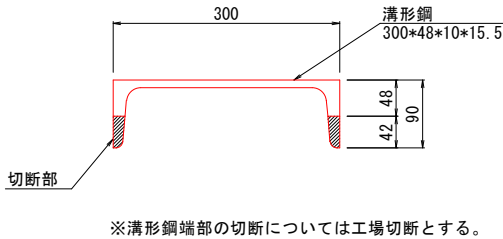
側面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



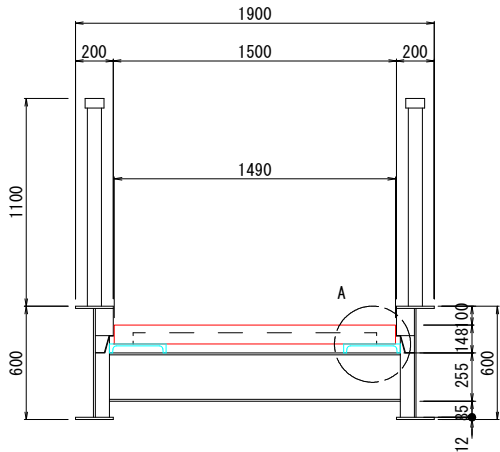
A部詳細図 S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



溝形鋼詳細図 S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)



標準断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



鋼部材補修工 (部材取替工) 数量表

名 称		規 格	算 定 式	単位	1式当り 数 量
プレキャスト床版		平板A		枚	17
		平板B		枚	1
		平板C		枚	1
床版設置面積		プレキャスト床版	$1.49 \times 0.50 \times 17 + 1.49 \times 0.492 \times 1/2 (0.386 + 0.596) \times 1.485$	m2	14.13
ボルト (M12)		L=120		組	76
取付金具	タイプⅠ	溝形鋼 [300×48×10×15.5 (L=1997)	4×2	個	8
	タイプⅡ	溝形鋼 [300×48×10×15.5 (L=1000)	1×2	個	2
	タイプⅢ	溝形鋼 [300×48×10×15.5 (L=429)		個	1
	タイプⅣ	溝形鋼 [300×48×10×15.5 (L=596)		個	1
溶接延長		6mm すみ肉溶接	$(0.15 \times 4 + 0.25 + 0.175 + 0.10 \times 3 + 0.075 + 0.05 + 0.048 \times 6) \times 2$	m	3.48
UPCモルタル (レジンモルタル)		0.05kg/箇所	$19 \times 4 \times 0.05$	kg	3.80
コーキング材		シーリング材	$1.49 \times 19 + 1.485 + 0.5 \times 2 \times 17 + 0.492 \times 2 + 0.386 + 0.596$	m	48.76
排水 装置	取付金具			個	2
	排水管	VU75A 直管 L=450mm		個	2
	溶接延長	4mm すみ肉溶接	$0.05 \times 2 \times 2$	m	0.20
	排水樹	FRP製		個	2

取付金具 溝形鋼
取付金具 タイプⅠ
14-[300×48×10×15.5×1997 (SM400) (Rc-Ⅰ塗装系)
取付金具 タイプⅡ
4-[300×48×10×15.5×1000 (SM400) (Rc-Ⅰ塗装系)
取付金具 タイプⅢ
1-[300×48×10×15.5×429 (SM400) (Rc-Ⅰ塗装系)
取付金具 タイプⅣ
1-[300×48×10×15.5×596 (SM400) (Rc-Ⅰ塗装系)

- 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行う事。
- 取付金具 (溝形鋼) 及び排水装置取付金具は加工後、Rc-Ⅰ塗装系で塗装仕上げとする。

工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	鋼部材補修工 (3/9)		
図面番号	全 19 の 9	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

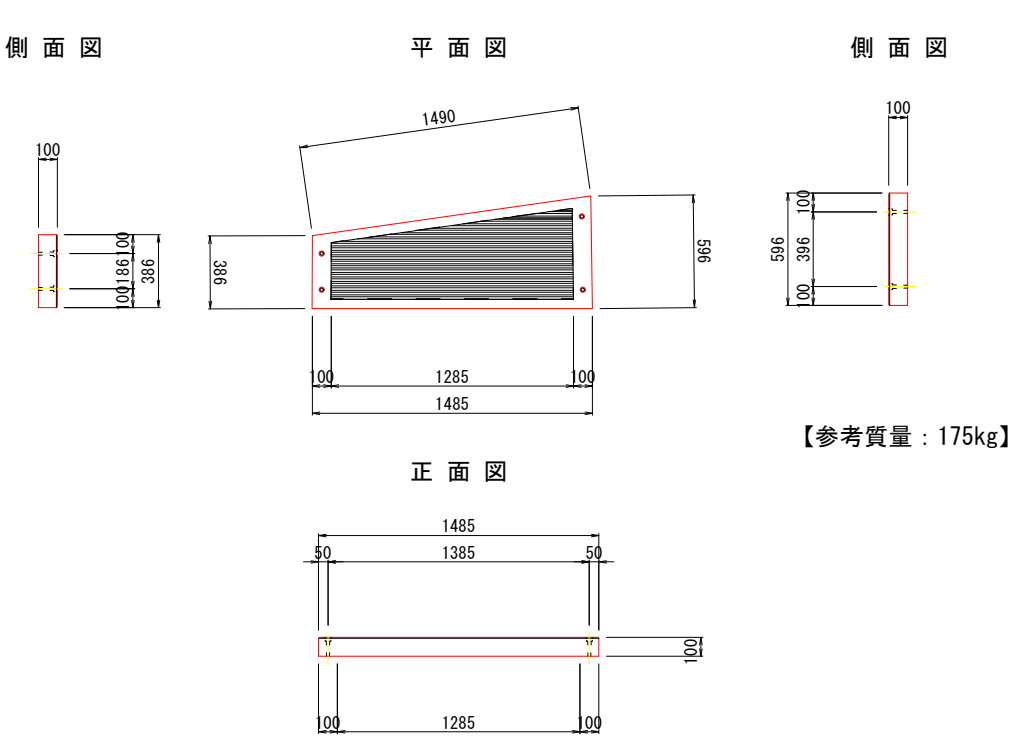
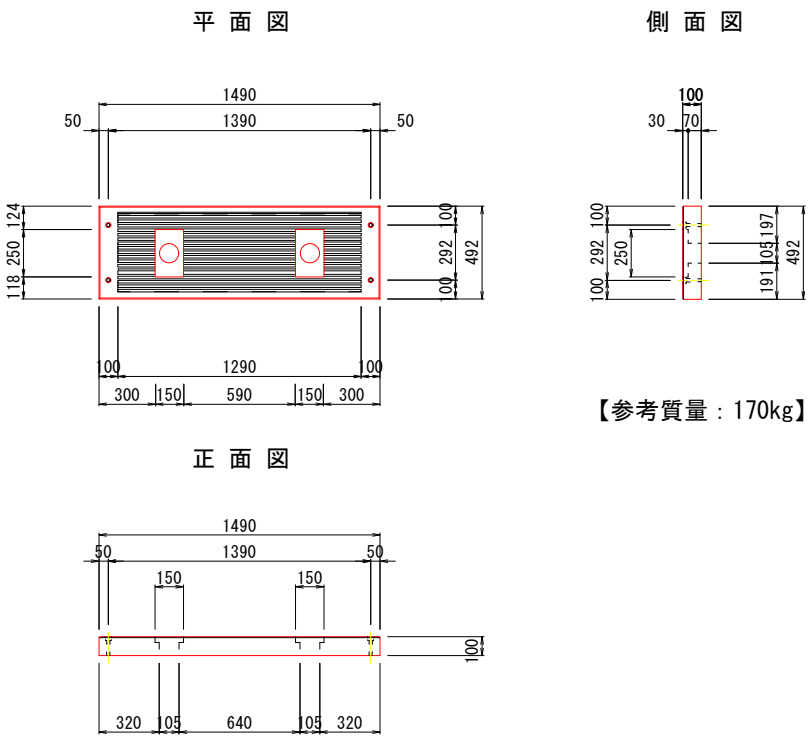
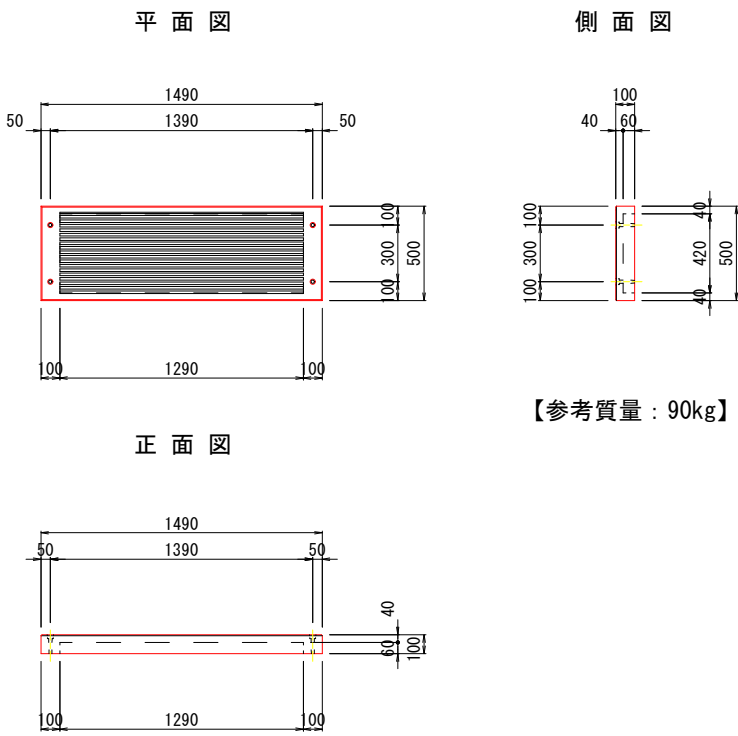
田上歩道橋 鋼部材補修工 (4/9)
(部材取替工 床版)

プレキャスト床版 詳細図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

平板タイプ
(平板A)

平板タイプ
(平板B)

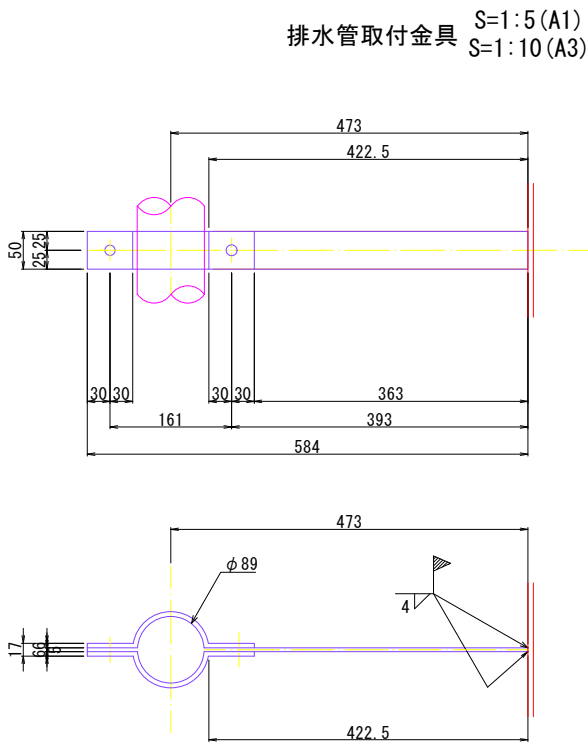
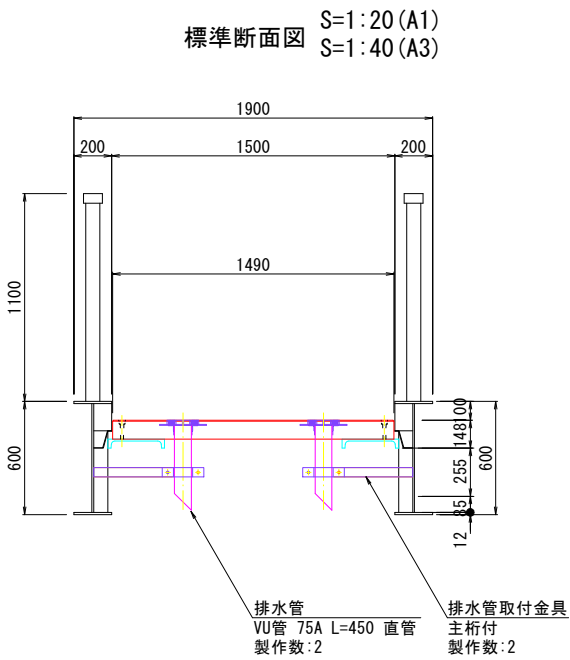
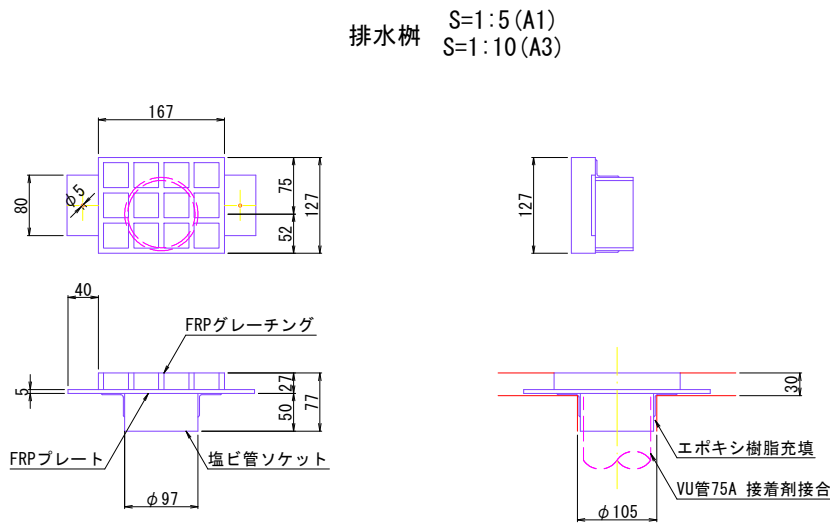
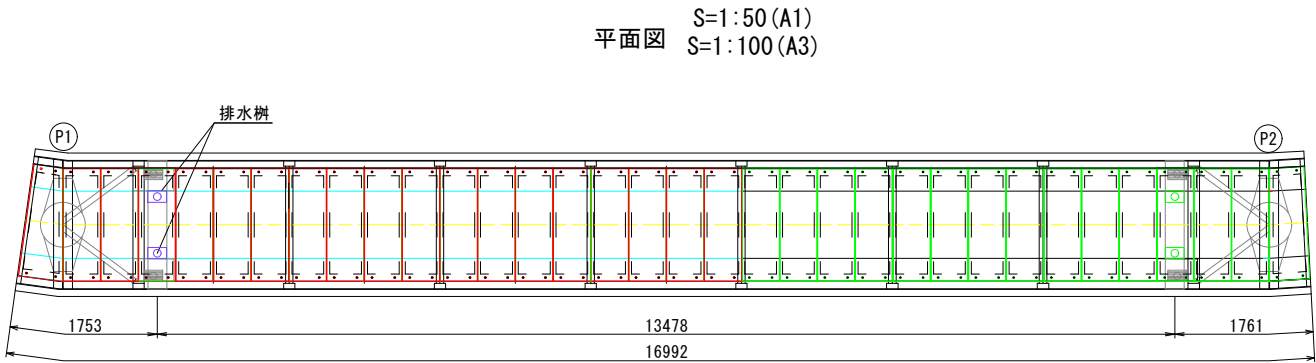
平板タイプ
(平板C)



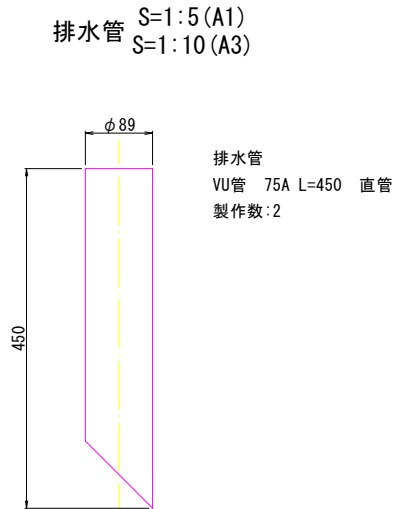
工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	鋼部材補修工 (4/9)		
図面番号	全 19 の 10	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工 (6/9)
(部材取替工 排水装置)

排水装置 詳細図



排水管用金具
製作数:2



排水管
VU管 75A L=450 直管
製作数:2

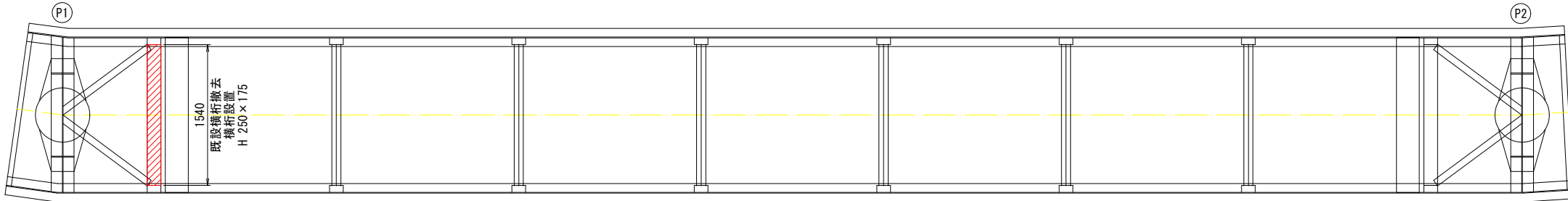
<1箇所当たり数量>
2-FB 50×6×260 (SS400 Rc-I 塗装系)
1-FB 50×6×430 (SM400 Rc-I 塗装系)
2-BN M12×40 (W付 SS400 Rc-I 塗装系)

塗装面積:
A=0.05×0.54×2+0.05×0.43×2=0.10m²

工事名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事業名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上ー丁目		
図面種類	鋼部材補修工 (6/9)		
図面番号	全 19 の 12	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工 (7/9)
(部材取替工 横桁)

平面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

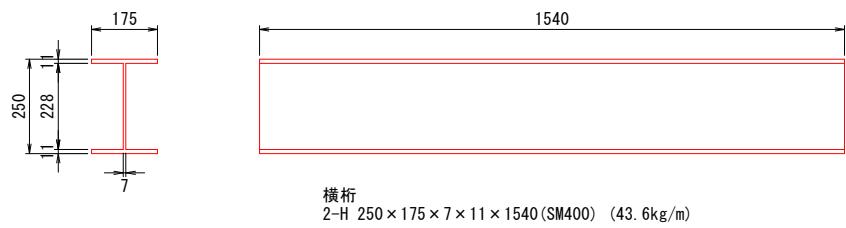
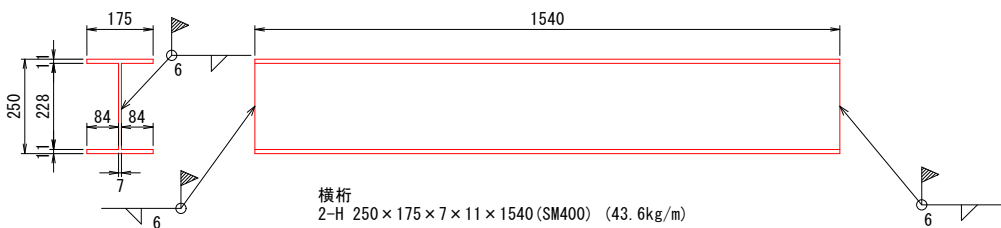


横桁設置 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

既設横桁撤去 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

横桁
横桁 H 250 × 175

横桁
横桁 H 250 × 175



部材取替工(横桁) 数量表

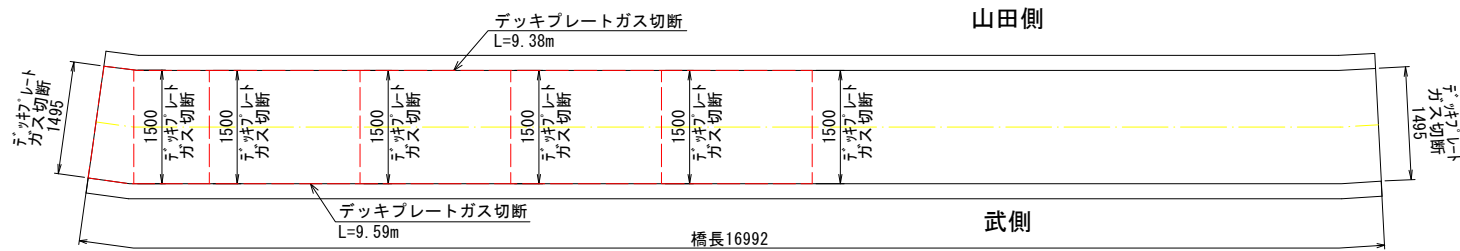
名称	規格	計算式	単位	数量	備考
横桁設置工	現場溶接工	$(0.175 \times 2 + 0.084 \times 4 + 0.011 \times 4 + 0.228 \times 2) \times 2$	m	2.37	
	横桁 (H 250 × 175)	43.60×1.54	kg	67.14	

1橋当り

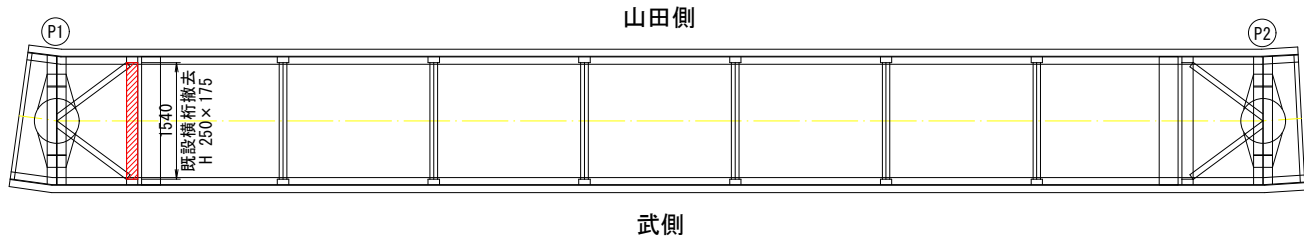
工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	鋼部材補修工 (7/9)		
図面番号	全 19 の 13	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工 (8/9) (部材取替工 床版・横桁撤去時)

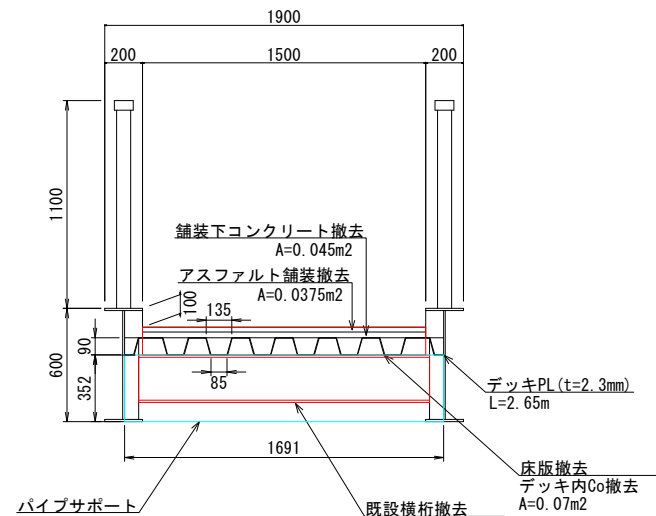
既設床版撤去 平面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



既設横桁撤去 平面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

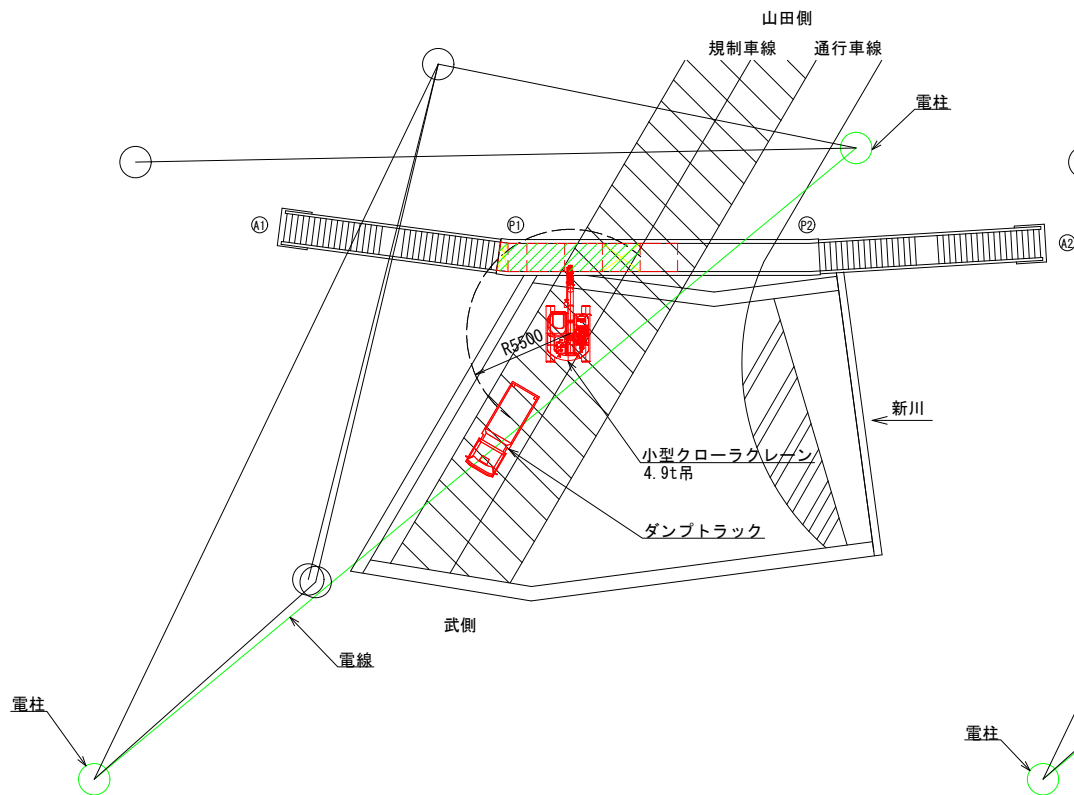


撤去時 断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

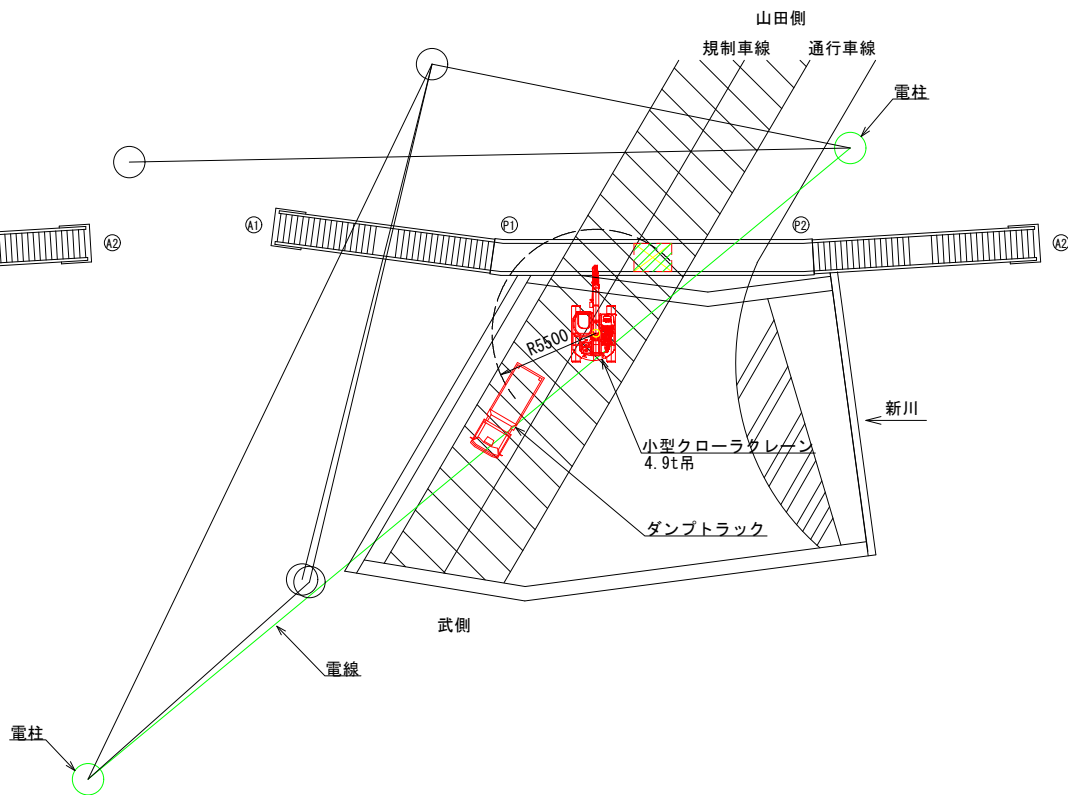


撤去時仮設図 平面図 S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

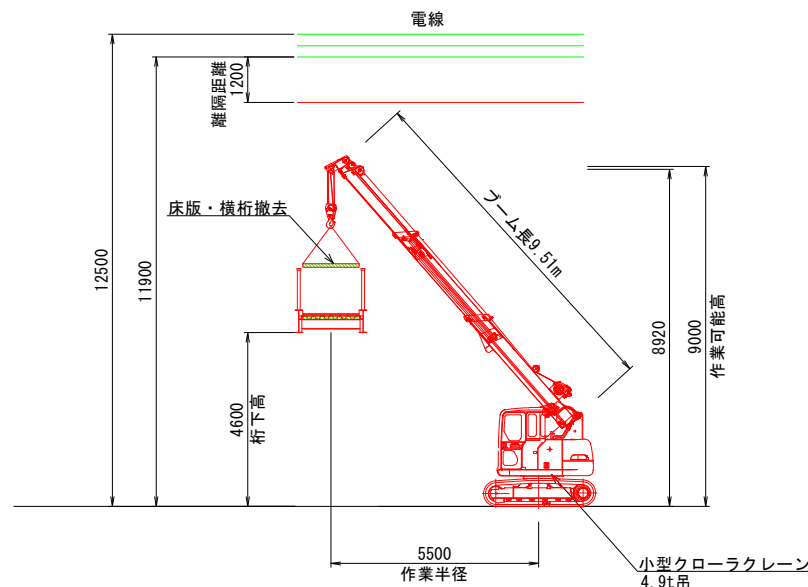
P1側撤去時



中央部撤去時



撤去時仮設図 断面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



部材取替工(撤去時) 数量表

名称	規格	計算式	単位	数量	備考
既設床版撤去工	As舗装撤去	$0.0375 \times 1/2 (9.38+9.59)$	m3	0.36	
	舗装下Co撤去	$0.045 \times 1/2 (9.38+9.59)$	m3	0.43	
	デッキ内Co撤去	$0.07 \times 1/2 (9.38+9.59)$	m3	0.66	
	ガス切断	$9.38+9.59+1.50 \times 6+1.495$	m	29.47	
	鋼材撤去	$2.65 \times 0.0023 \times 1/2 (9.38+9.59) \times 7850$	kg	453.82	
	パイプサポート	$0.352 \times 1.691 \times 1/2 (9.38+9.59)$	空m3	5.65	
既設横桁撤去工	ガス切断	$(0.175 \times 2+0.228) \times 2$	m	1.16	
	鋼材撤去	43.60×1.54	kg	67.14	

※既設横桁撤去工については鋼部材補修工(7/9)(部材取替工 横桁)参照

撤去時 吊上げ重量

部 材	重 量	フック	合 計	備 考
分割床版(最重)	700	60	760	業務報告書より
横桁	80	60	140	図面(部材取替工 横桁)より
中間横桁	80	60	140	

最大吊上げ重量 W=760kg

〈注記〉

- 床版及び横桁は小型クローラークレーンにて撤去するため、市道の片側交互通行規制(夜間 2車線規制)が必要となる。
- クレーン回転時は、通行車線上に資機材が侵入しないよう、作業を実施すること。

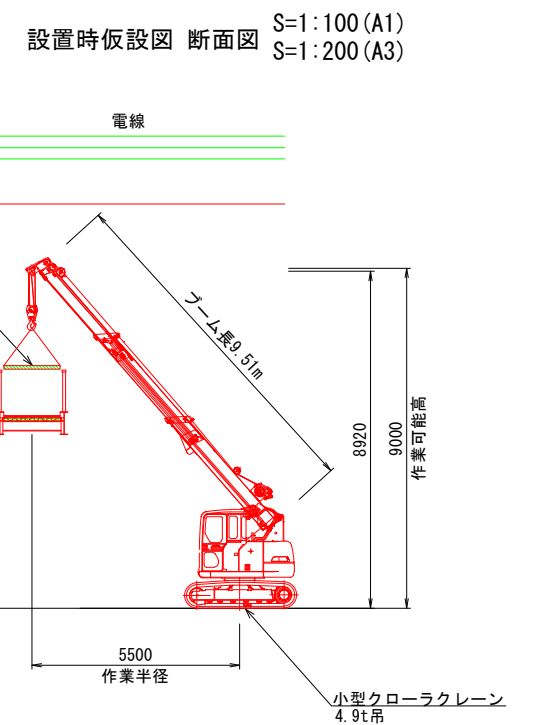
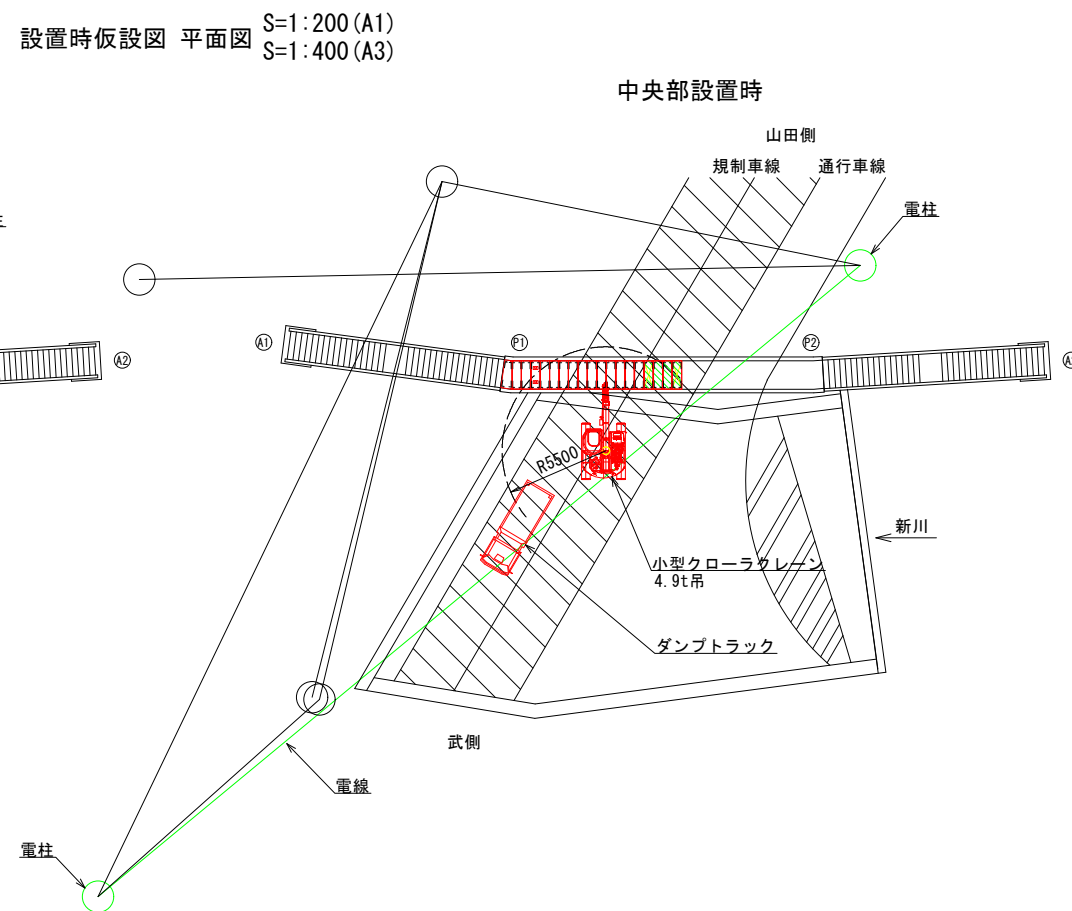
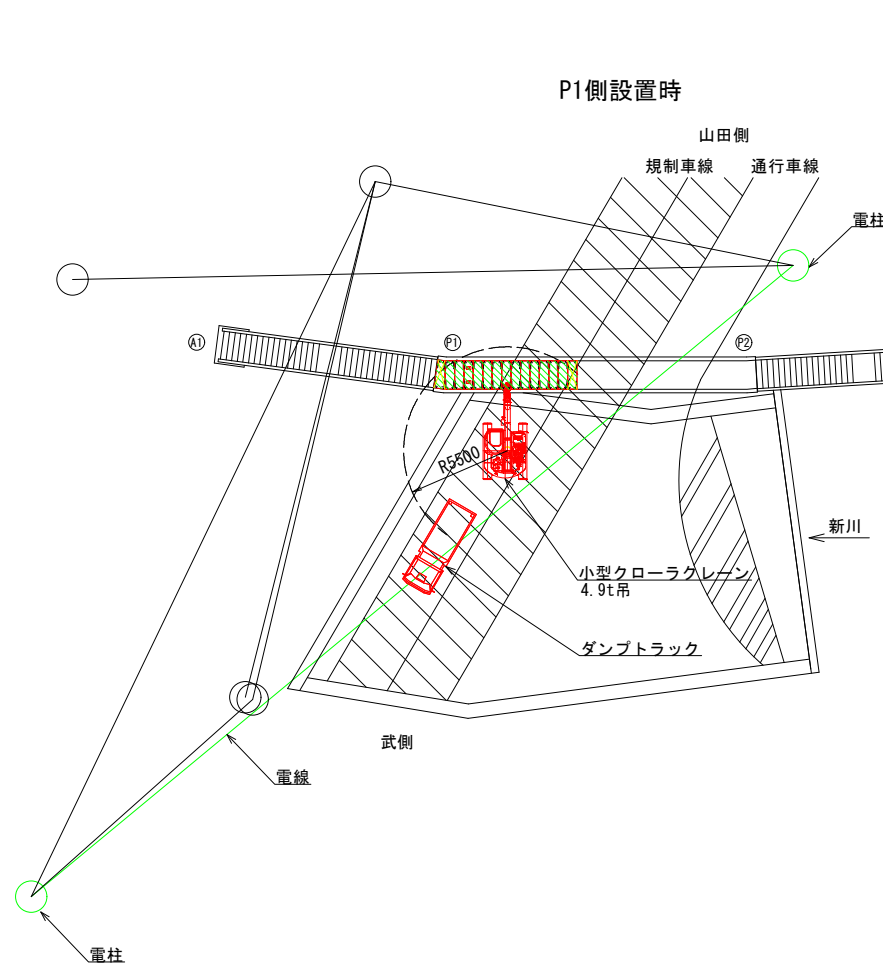
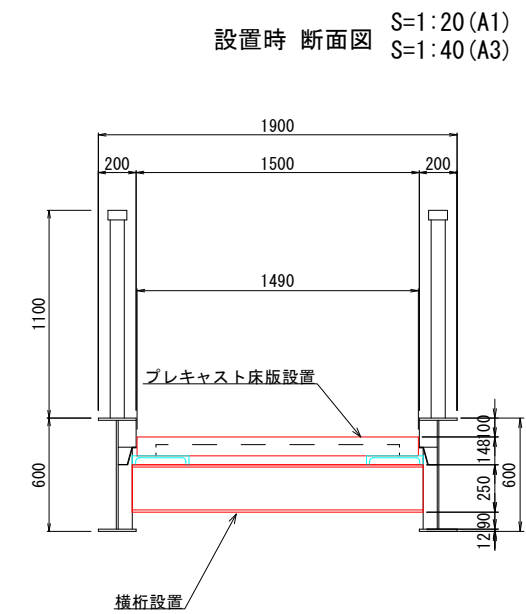
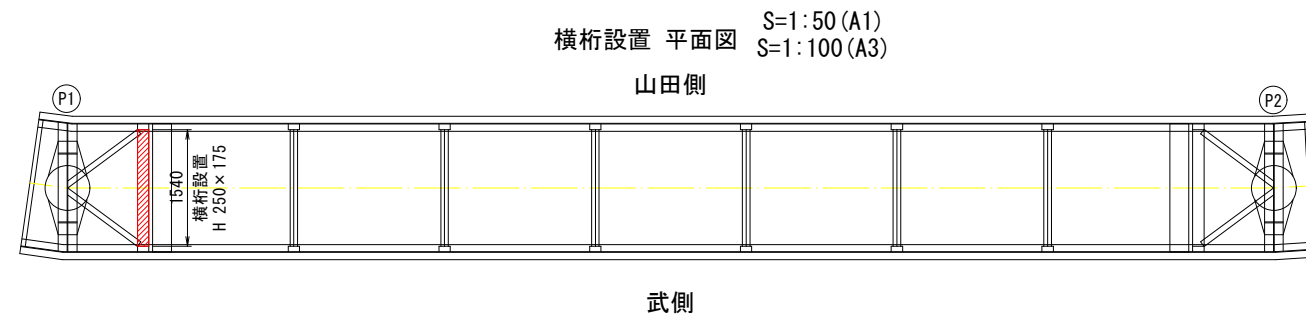
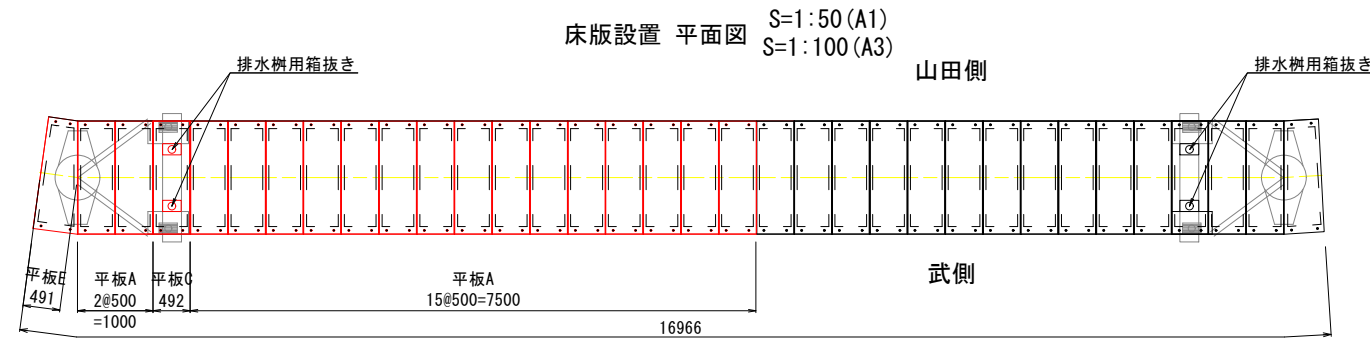
撤去時 定格荷重表

小型クローラークレーン4.9t吊(静止吊)

フーム長さm 作業半径m	6.88	9.51	12.14
4.5	2650	2580	2000
5.0	2250	2340	2000
6.0	1700	1800	1720
7.0	1650	1440	1470
8.0		1030	1040

工 事 名	田上歩道橋補修工事(その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上ー丁目		
図面種類	鋼部材補修工(8/9)		
図面番号	全 19 の 14	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 鋼部材補修工(9/9)
(部材取替工 床版・横桁設置時)



設置時 定格荷重表
小型クレーン4.9t吊（静止吊） (kg)

boom長さm 作業半径m	6.88	9.51	12.14
4.5	2650	2580	2000
5.0	2250	2340	2000
6.0	1700	1800	1720
7.0	1650	1440	1470
8.0		1030	1040

工 事 名	田上歩道橋補修工事（その３）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	鋼部材補修工(9/9)		
図面番号	全 19 の 15	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

株式会社サタコンサルタンツ
099-250-7360

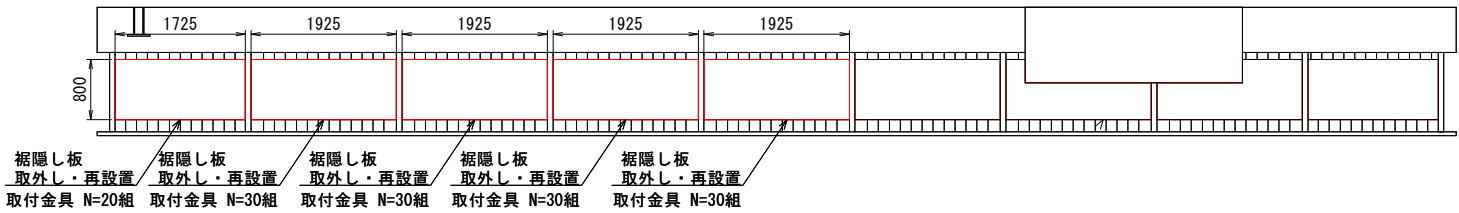
＜注記＞

1. 床版及び横桁は小型クローラークレーンにて設置するため、市道の片側交互通行規制(夜間 2車線規制)が必要となる。
2. クレーン回転時は、通行車線上に資機材が侵入しないよう、作業を実施すること。

田上歩道橋 裾隠し板補修工

上部構造 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

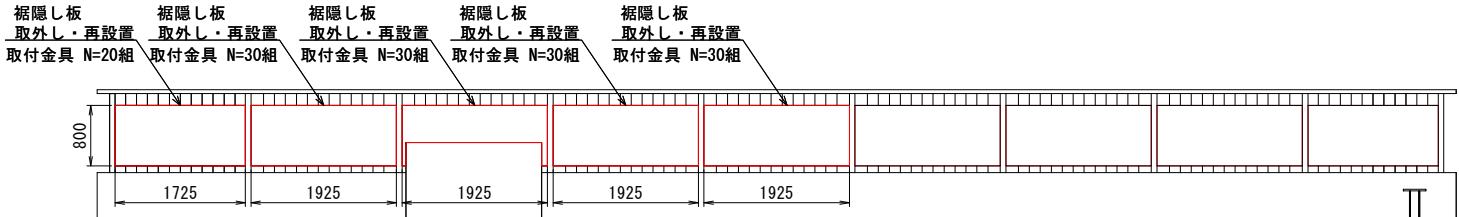
山田側



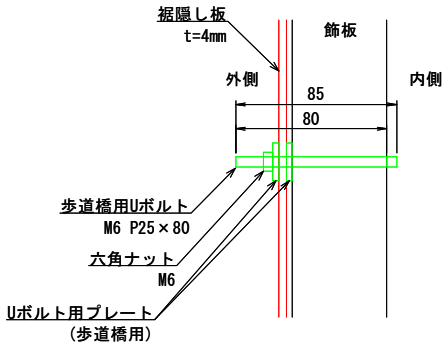
P1

武側

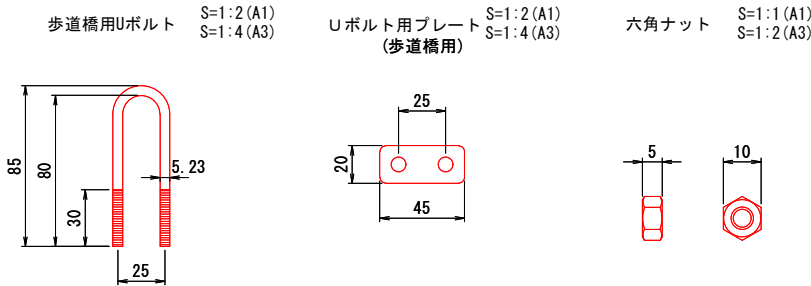
P2



金具取替え 断面図 S=1:2 (A1)
S=1:4 (A3)



取付金具詳細図



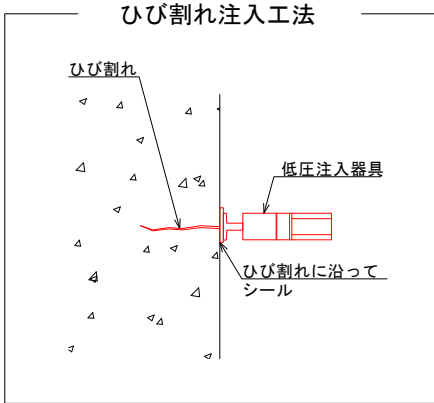
裾隠し板補修工 数量表

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
裾隠し板 取外し・再設置		0.80×1.925×8+0.80×1.725×2	m2	15.08
取付金具		20×2+30×8	組	280

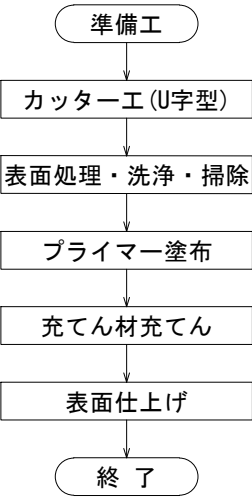
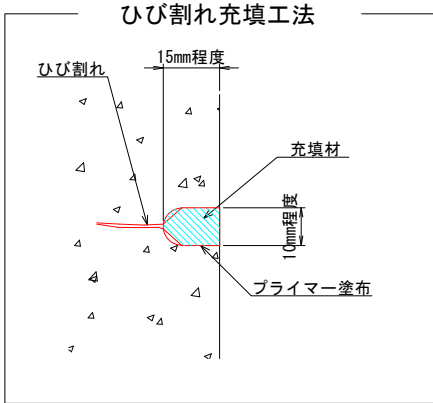
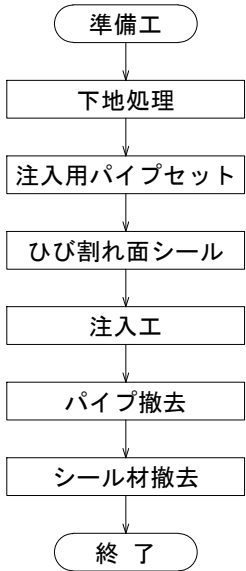
工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	裾隠し板補修工		
図面番号	全 19 の 16	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 ひび割れ補修工・断面修復工(1/2)

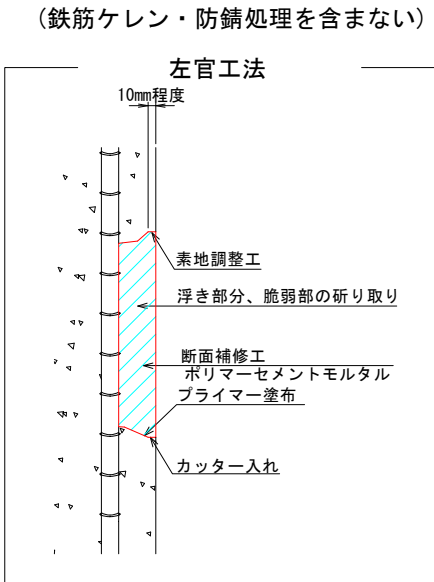
ひび割れ補修工



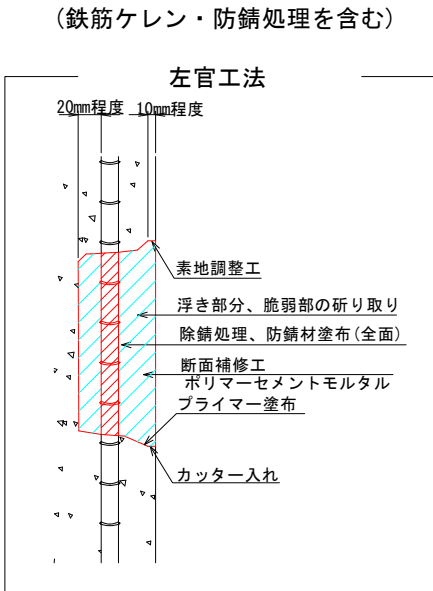
注記)
・樹脂系注入材の場合、注入箇所が漏水や湿潤状態にあると、
接着不良を起こす可能性があるため、湿潤面用注入材を用
いること。
・セメント系注入材の場合、注入箇所が乾燥状態にあると、
湿潤状態にすること。
・ひび割れ箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。



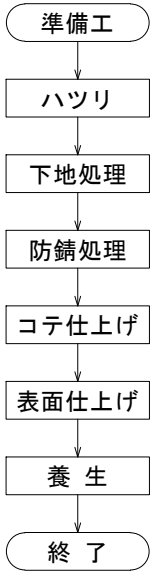
断面補修工



注記)
・補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
・断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
・断面修復箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。



・断面修復の際は、鉄筋等の鋼材全面に防錆処理を施すこと。
・断面修復箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。

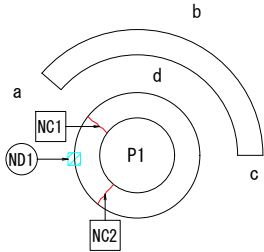


工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	ひび割れ補修工・断面修復工(1/2)		
図面番号	全 19 の 17	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

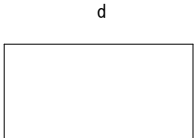
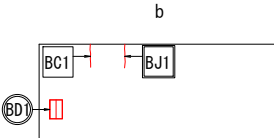
田上歩道橋 ひび割れ補修工・断面修復工 (2/2)

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

P1橋脚
(根巻きコンクリート)



P1防護壁



断面修復工(鉄筋ケレン・防錆処理含む)数量表

損傷箇所		No.	W×L×平均深さ(m)	箇所		V(m3)
下部構造	防護壁	BD1	0.150 × 0.100 × 0.050	1		0.0008
	計					0.0008

断面修復工(鉄筋ケレン・防錆処理含まない)数量表

損傷箇所		No.	W×L×平均深さ(m)	箇所		V(m3)
下部構造	根巻き コンクリート	ND1	0.100 × 0.100 × 0.030	1		0.0003
	計					0.0003

ひび割れ補修工
(ひび割れ注入工法)数量表

損傷箇所		No.	延長 (mm)	幅 (mm)
下部構造	根巻き コンクリート	NC1	200	0.30
		NC2	200	0.30
	小	計	400	-
	防護壁	BC1	200	0.30
		小	計	200
	合 計		600	-

ひび割れ補修工
(ひび割れ充填工法)数量表

損傷箇所		No.	延長 (mm)	幅 (mm)
下部構造	防護壁	BJ1	200	0.50
	計		200	-

図記号一覧表

表 示	補修項目
	鉄筋ケレン・防錆処理含む
	鉄筋ケレン・防錆処理含まない

識別記号一覧表

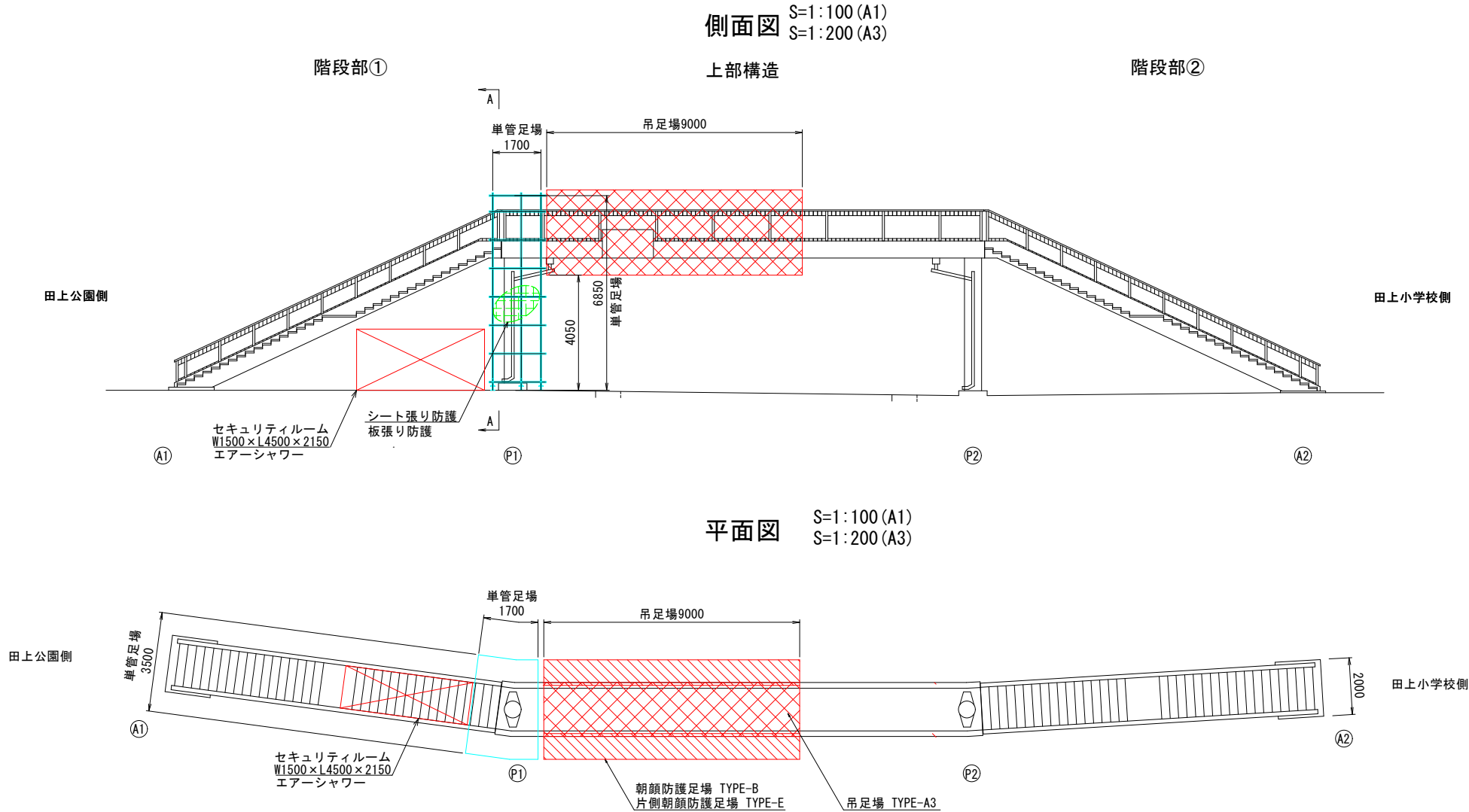
施工箇所		補修項目
防護壁	BD1	断面修復工法（鉄筋ケレン・防錆処理含む）
	BC1	低圧注入工法
	BJ1	充填工法
根巻き コンクリート	ND1	断面修復工法（鉄筋ケレン・防錆処理含まない）
	NC1	低圧注入工法

＜注記＞

- 施工時は、現地寸法を確認のこと。
- 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
- 脆弱部は、はつり落とすこと。
- カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
- 断面修復の範囲は、「現地調査」に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。

工 事 名	田上歩道橋補修工事（その3）		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	ひび割れ補修工・断面修復工 (2/2)		
図面番号	全 19 の 18	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			

田上歩道橋 仮設参考図
(吊足場・単管足場：上部構造、下部構造P1)



吊足場工・単管足場(上部構造+下部構造P1) 数量表

名称	規格	算出式	面積
吊足場	TYPE A3	1.90×9.00	17.10 m ²
床面シート張防護		3.50×9.00	31.50 m ²
朝顔防護足場	TYPE B	1.90×9.00	17.10 m ²
片側朝顔防護足場	TYPE E	(0.80+0.10)×9.00×2	16.20 m ²
単管足場		6.85×1.70	11.65 掛m ²
プラスト養生シート		1.90×9.00+3.50×1.70	23.05 m ²
剥離剤養生シート		1.90×9.00+3.50×1.70	23.05 m ²
板張り防護		6.85×1.70	11.65 掛m ²
シート張り防護		6.85×1.70	11.65 掛m ²

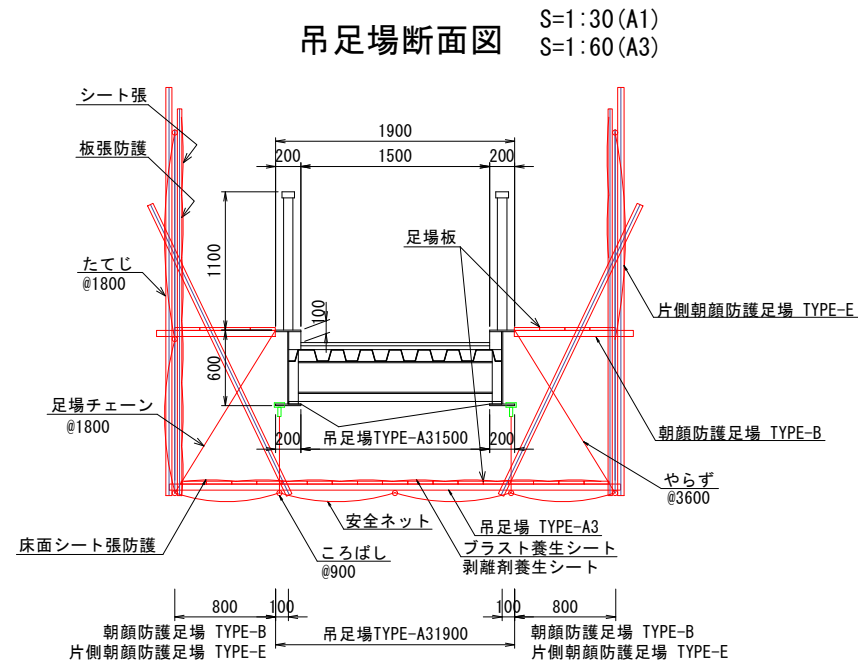
<注記>

1. 吊足場側面のたてじ及び板張防護については、市道の高さ制限規制(H=3.8m)に影響しないよう設置すること。

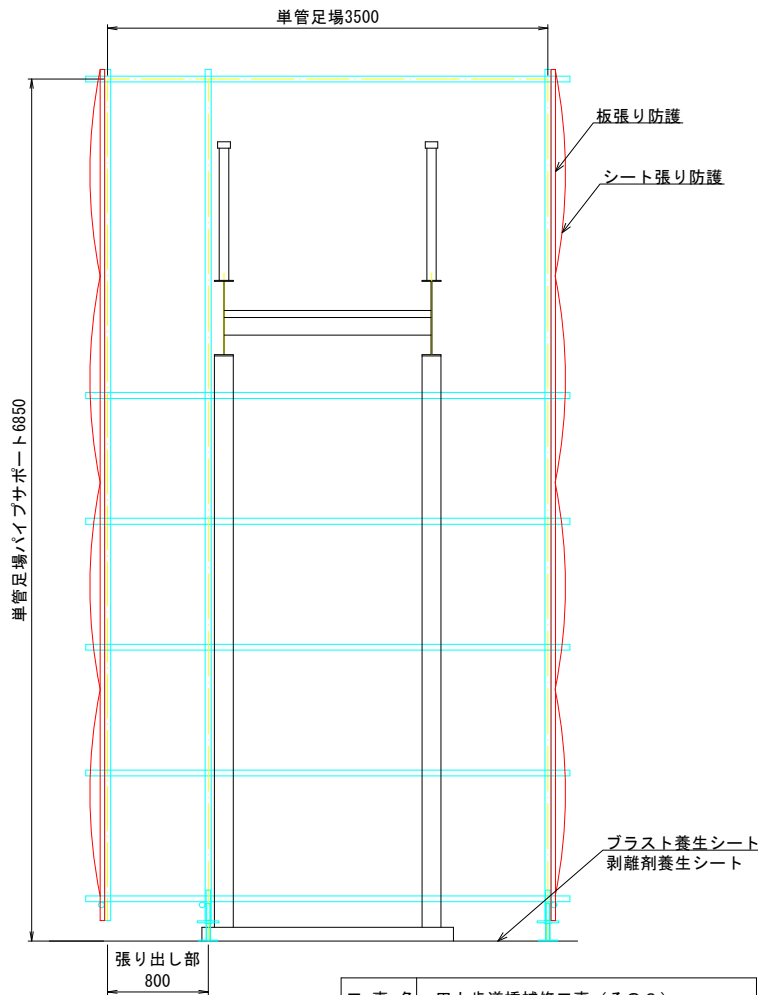
足場工の種類

	足場の種類	主な工種
TYPE A1	吊足場 (桁高h<1.5)	床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工
TYPE A2	吊足場 (桁高h≥1.5) (中段足場含む)	床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工
TYPE A3	吊足場 (足場上で部材移動のある場合や、路下 が道路・鉄道等で板張り防護が必要な場合)	床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工
TYPE B	朝顔・板張防護・シート張防護	床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工
TYPE C	中段足場	床版補強工・主構造補強工・環境対策工・塗替塗装工
TYPE D	中段足場 (ガラ受け)	床版補強工・主構造補強工・環境対策工
TYPE E	片側朝顔防護足場	地覆補修工・高欄補修工
TYPE F	脚回り足場	支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工
TYPE G	枠組足場	支承取替工・落橋防止工・伸縮装置取替工
TYPE H	塗装用吊足場 (桁高h<1.5)	塗替塗装工
TYPE I	塗装用吊足場 (桁高h≥1.5) (中段足場含む)	塗替塗装工
TYPE J	機械足場	
	プラスト養生シート	
	剥離剤養生シート	
	単管足場	

- 本計画では、補修内容、現地条件より吊足場(TYPE-A3)を主体足場として考慮する。
- 桁下から吊足場高さを600mm確保すると、建築限界(4.5m)を確保できないため吊足場設置時は、車両通行規制(車高 H=3.8m以下)を行うこと。



A-A断面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



工 事 名	田上歩道橋補修工事 (その3)		
事 業 名	道路ストック修繕事業		
工事場所	鹿児島市 田上一丁目		
図面種類	仮設参考図		
図面番号	全 19 の 19	作成年月	令和8年 5月
鹿児島市 道路維持課 田上工事事務所			